



一般国道168号

ご じょうしんぐう

五條新宮道路

No. 3

近畿地方整備局
事業評価監視委員会
令和5年度第4回

と つ かわ

十津川道路(Ⅱ期)

ご じょうしんぐう かぜ や かわ つ う ぐ わら

五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)

なが との

長殿道路

【再評価】

令和5年12月
近畿地方整備局

目次

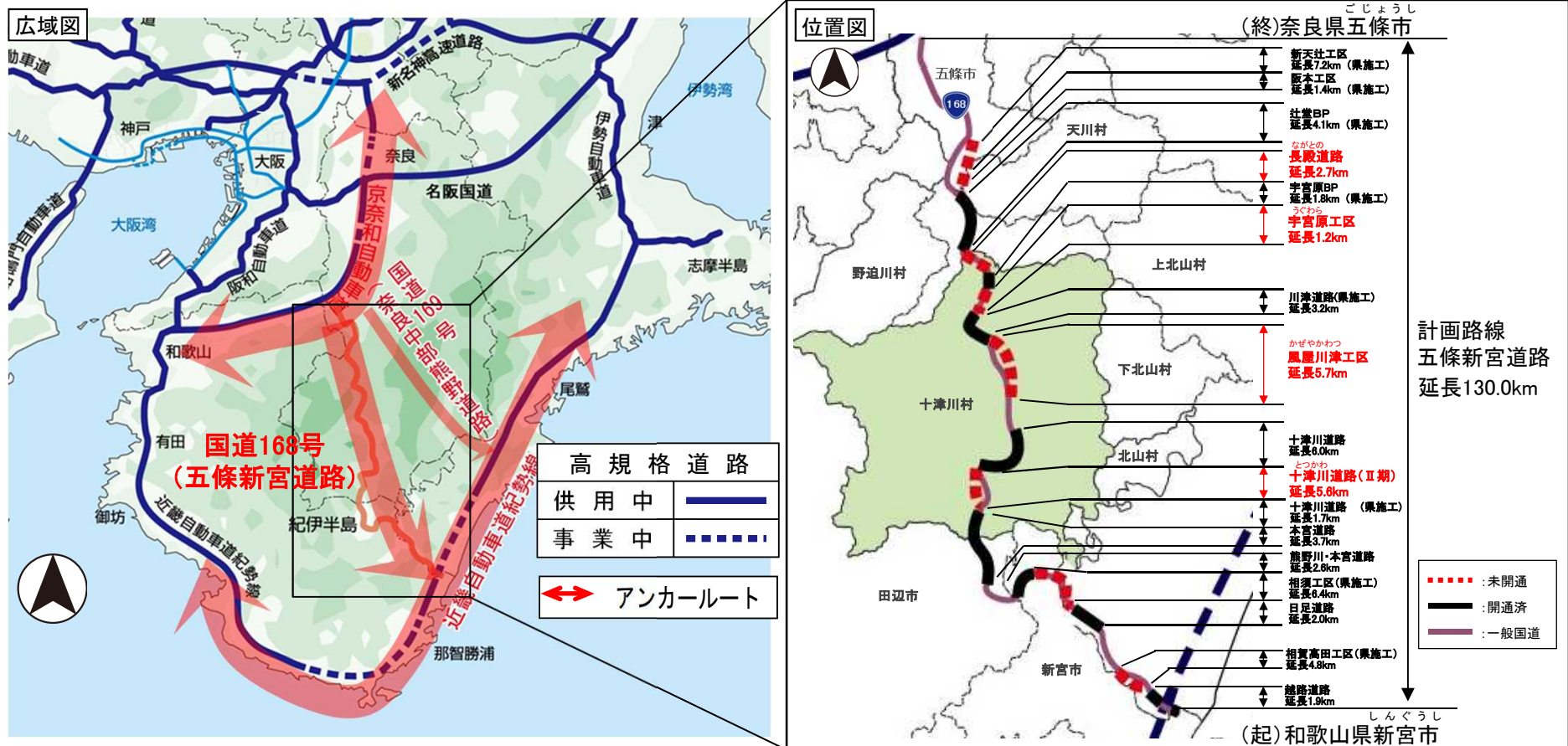
1. 事業全体図
2. 事業の概要
3. 事業費の見直し
4. 事業の必要性等に関する視点
 - 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化
 - 2) 事業の整備効果
 - 3) 事業の投資効果
 - 4) 地域における計画等
5. 事業の進捗の見込みの視点
6. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点
7. 関係自治体の意見
8. 対応方針(原案)

1. 事業全体図

一般国道168号 五條新宮道路

国道168号五條新宮道路は、奈良県五條市から和歌山県新宮市を結ぶ延長130kmの高規格道路です。「紀伊半島アンカールート」の一部を形成し、高規格道路の空白地帯である紀伊半島内陸部を南北に縦貫する極めて重要な幹線道路です。住民の生活と安全を守る「いのちの道」としてなど、防災面のみならず、人と物の流れを活発化し、地域の活性化を図るうえで必要不可欠な道路ですが、現在も未改良区間があり、国と県で早期完成に向けて整備中です。

十津川道路(Ⅱ期)、五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)、長殿道路は、地形条件が厳しく、整備に高度な技術を要する区間であることから国土交通省直轄権限代行事業として、災害に強い道路の確保、安定した交通路の確保、医療施設へのアクセス向上、地域の活性化等を目的に整備を進めています。



2. 事業の概要

一般国道168号 五條新宮道路

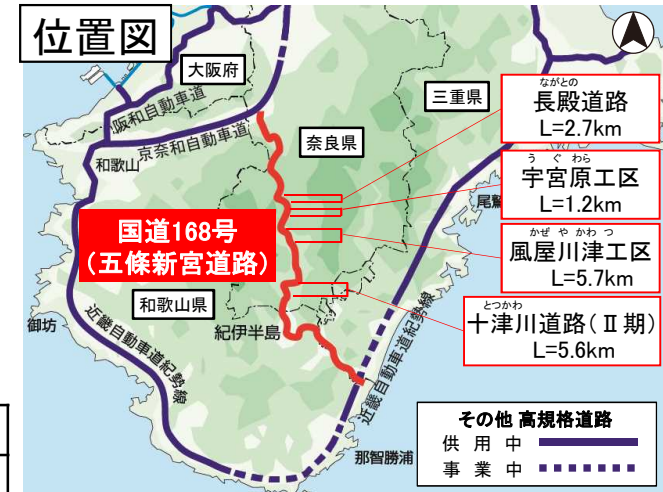
事業の目的

- 災害に強い道路の確保
- 安全・安心な通行の確保
- 医療施設へのアクセス向上
- 地域の活性化

事業の概要・進捗状況

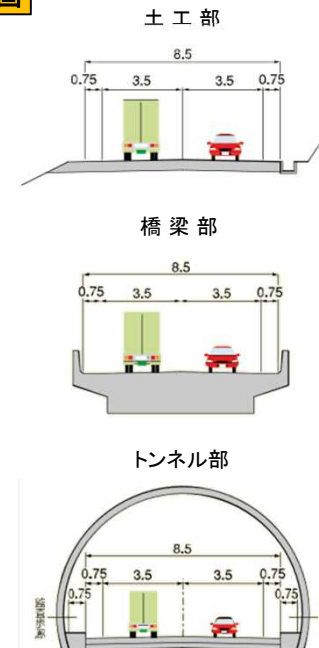
	十津川道路(Ⅱ期)	五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)	長殿道路
区 間	(起) 奈良県吉野郡十津川村大字七色 (終) 奈良県吉野郡十津川村大字平谷	(起) 奈良県吉野郡十津川村大字野尻 (終) 奈良県吉野郡十津川村大字宇宮原	(起) 奈良県吉野郡十津川村大字長殿 (終) 奈良県吉野郡十津川村大字長殿
道路延長	5.6km	6.9km	2.7km
構造規格	第3種第2級	第3種第2級	第3種第2級
設計速度	60km/h	60km/h	60km/h
車 線 数	2車線	2車線	2車線
標準幅員	8.5m	8.5m	8.5m
計画交通量	3,300台/日	3,800台/日	2,500台/日
全体事業費	407億円	332億円	191億円
事業化	令和2年度	平成25年度	平成24年度
都市計画決定	-	-	-
用地着手	令和4年度	令和元年度	平成26年度
工事着手	-	令和元年度	平成28年度
開通延長	-	-	-
事業進捗率	約1%(令和5年3月末現在)※	約5%(令和5年3月末現在)※	約33%(令和5年3月末現在)※
用地進捗率	約42%(面積ベース、同上)	約7%(面積ベース、同上)	約62%(面積ベース、同上)

※R5再評価後の事業費に対する進捗率(令和5年3月末進捗状況から算出)



標準断面図

計画



3. 事業費の見直し

一般国道168号 五條新宮道路

■全体事業費の見直し

○労務費・物価上昇、地質条件変更等により約91.5億円の事業費の増額が生じたため、約2.4億円のコスト縮減を図ったものの、事業費全体で約89.1億円の増額

○全体事業費

十津川道路(Ⅱ期) 約380億円 ⇒ 約407億円 (+26.7億円)
 風屋川津・宇宮原工区 約300億円 ⇒ 約332億円 (+31.6億円)
 長殿道路 約160億円 ⇒ 約191億円 (+30.8億円)

■事業費増額の増加要因

- 労務費・物価上昇による増額
- 地質調査の結果、地質等の条件が当初想定と異なったことに伴う設計変更による増額
- 仮設計画の変更による増額

単位:億円

No.	主な増加理由	十津川道路(Ⅱ期)		風屋川津・宇宮原工区		長殿道路		合計		備考
		増額	減額	増額	減額	増額	減額	増額	減額	
①	労務費・物価上昇による増	+21.2		+27.2		+12.4		+60.8		
②	地質条件変更による増	+6.9				+15.9		+22.8		
③	仮設計画の変更による増			+5.0		+2.9		+7.9		
④	コスト縮減		-1.4		-0.6		-0.4		-2.4	
	合計	26.7		31.6		30.8		89.1		

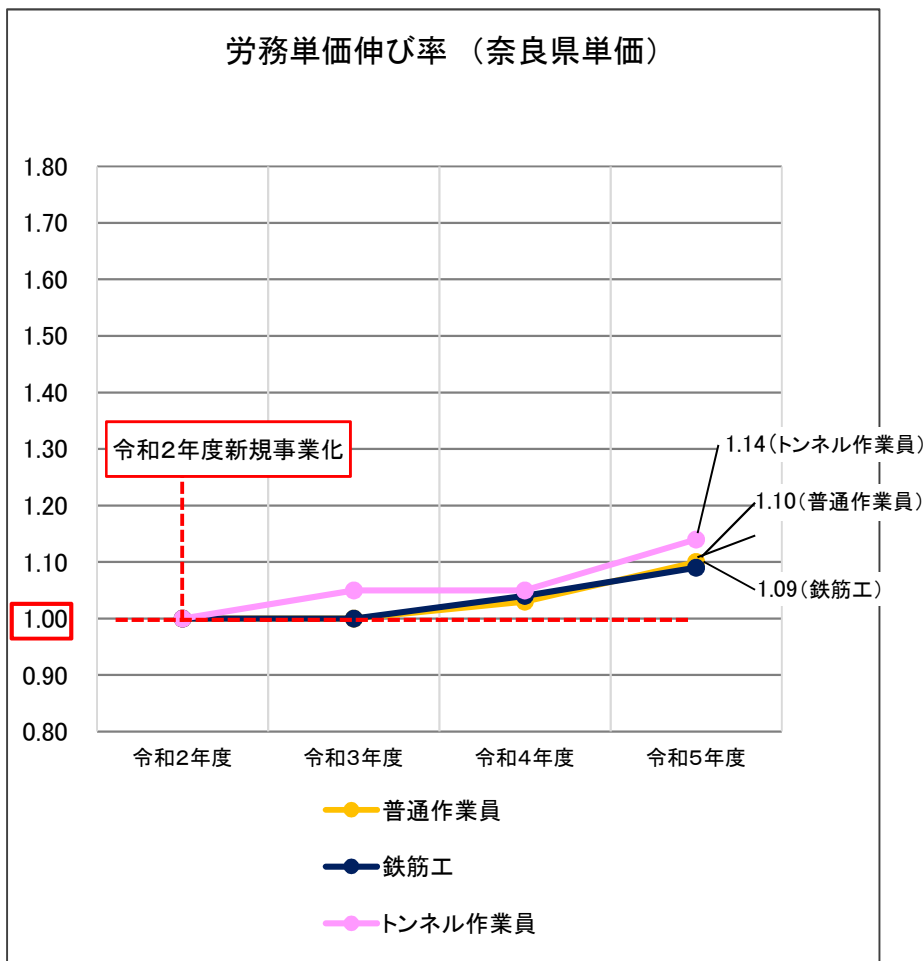
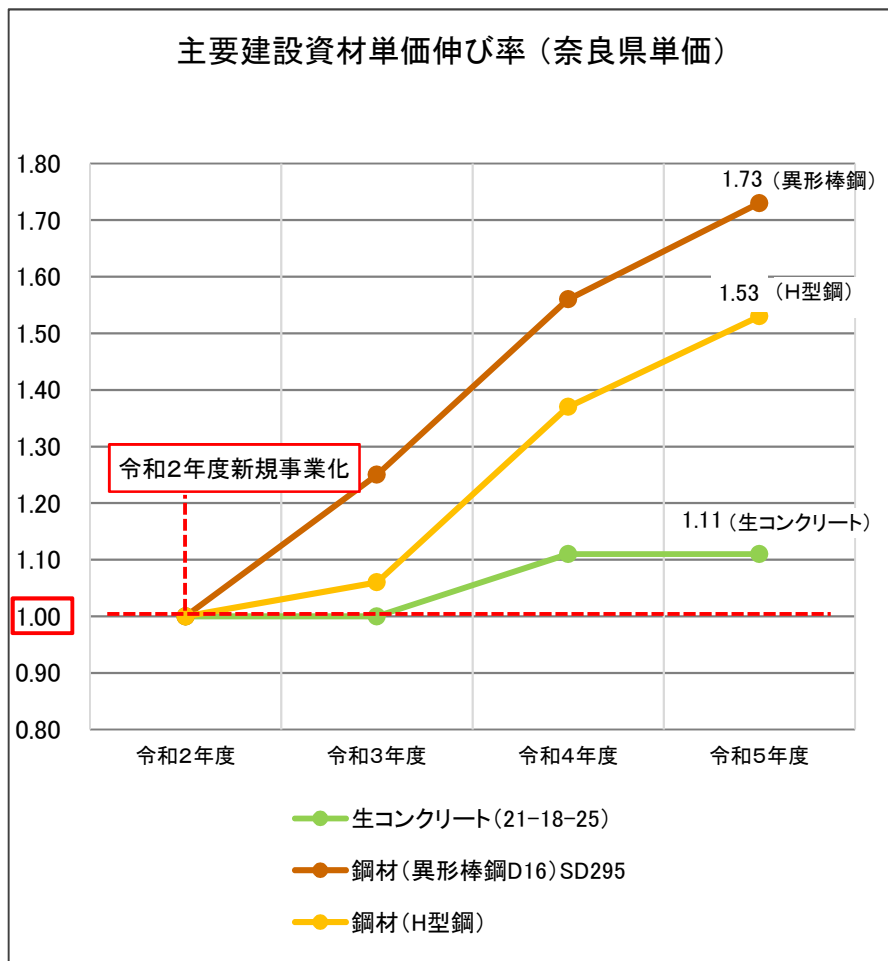
3. 事業費の見直し

一般国道168号 五條新宮道路

1) 労務費・物価上昇による増 (+21.2億円)

【十津川道路(Ⅱ期)】

■十津川道路(Ⅱ期)では前回評価(R2)後の資機材・労務費単価の上昇によって、増額の必要が生じた。



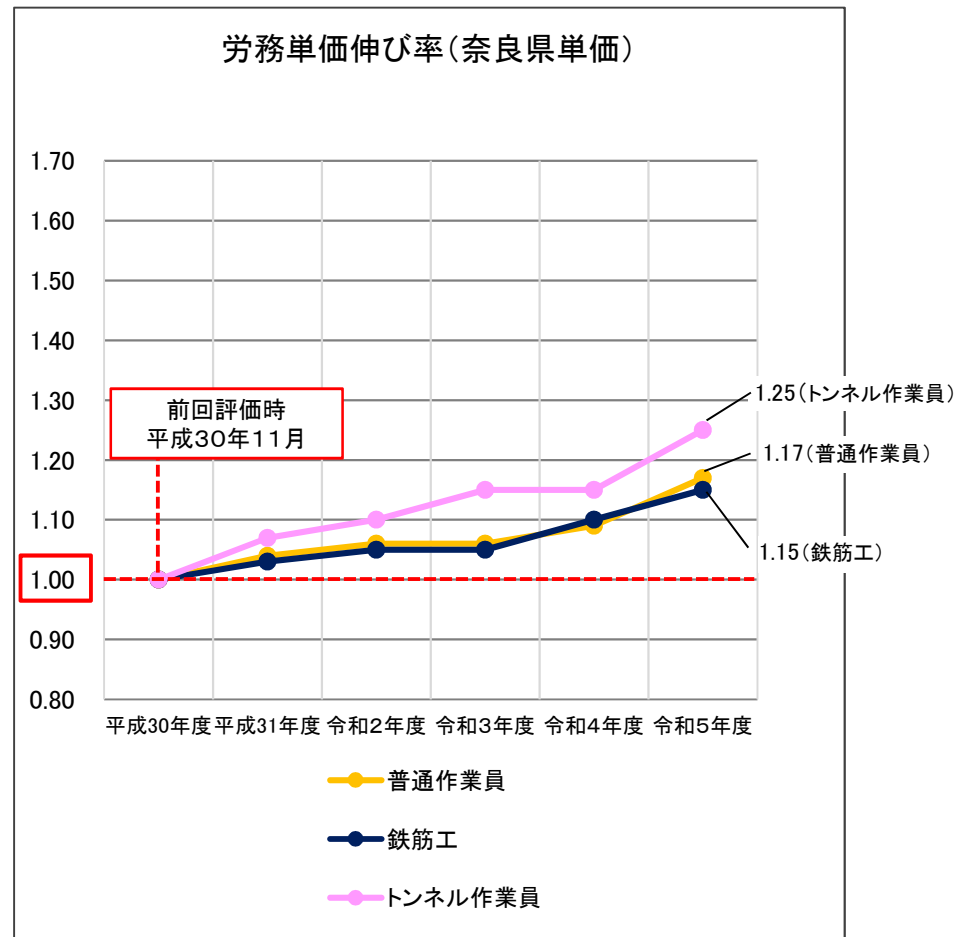
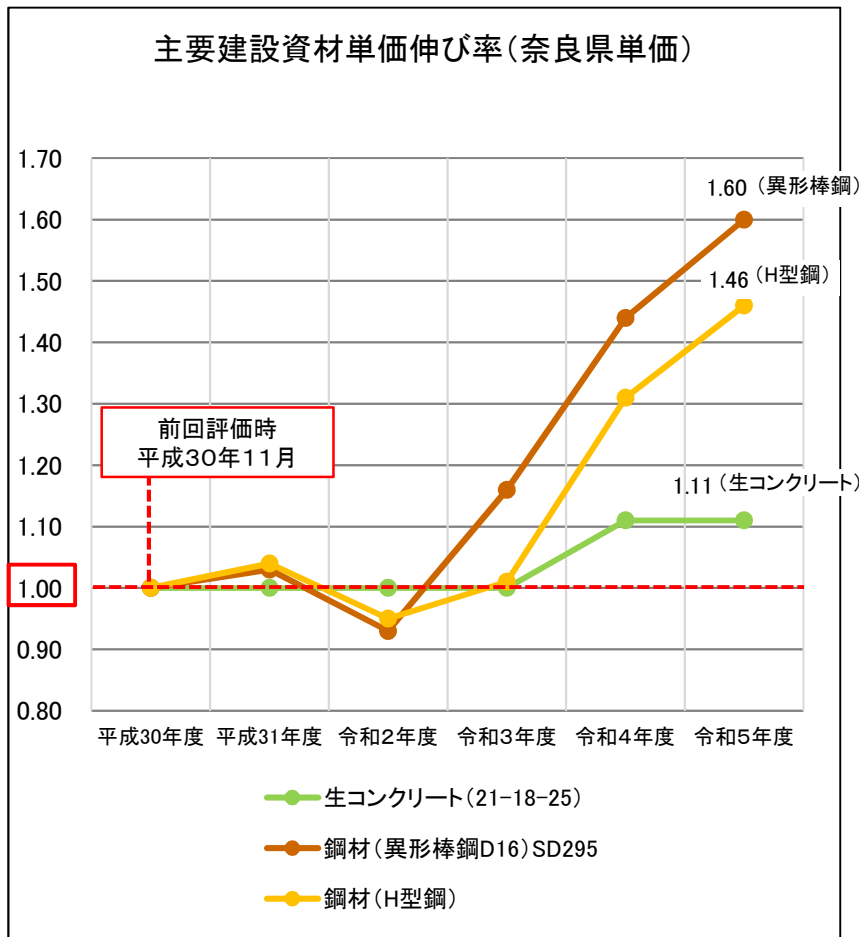
■十津川道路(Ⅱ期)
・トンネル区間は事業区間全体の約8割を占め、主要資材は生コンクリート、異形棒鋼、主要労務はトンネル作業員、普通作業員、鉄筋工

3. 事業費の見直し

一般国道168号 五條新宮道路

1) 労務費・物価上昇による増 (+39.6億円)【風屋川津・宇宮原工区、長殿道路】

■風屋川津・宇宮原工区、長殿道路では前回評価(H30)後の資機材・労務費単価の上昇によって、増額の必要が生じた。



■風屋川津・宇宮原工区

・トンネル区間は事業区間全体の約8割を占め、主要資材は生コンクリート、異形棒鋼、主要労務はトンネル作業員、普通作業員、鉄筋工

■長殿道路

・トンネル区間は事業区間全体の約7割を占め、主要資材は生コンクリート、異形棒鋼、主要労務はトンネル作業員、普通作業員、鉄筋工

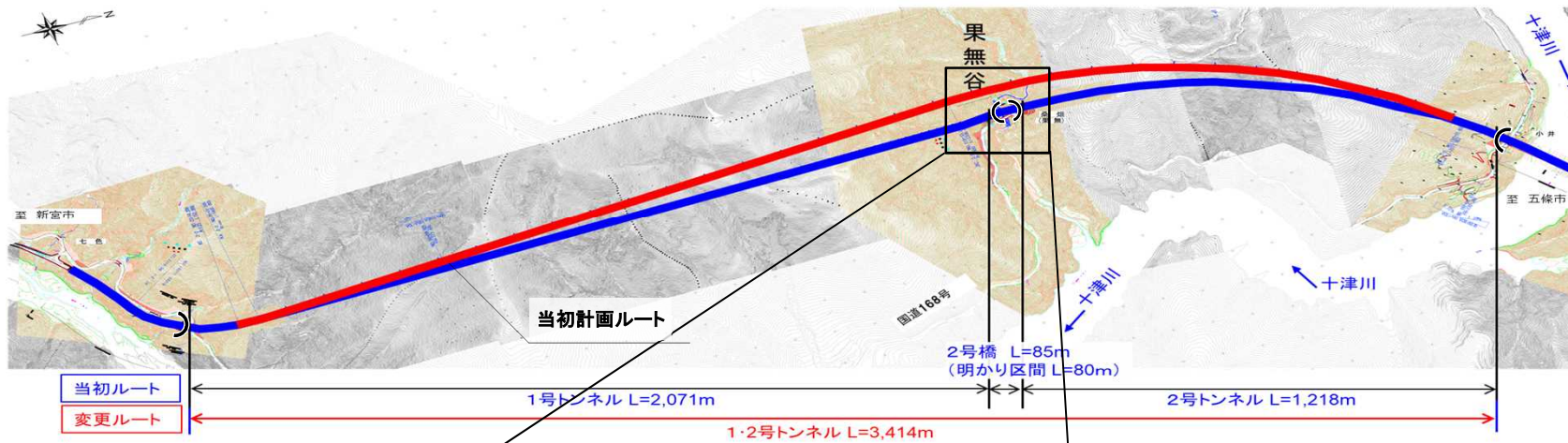
3. 事業費の見直し

一般国道168号 五條新宮道路

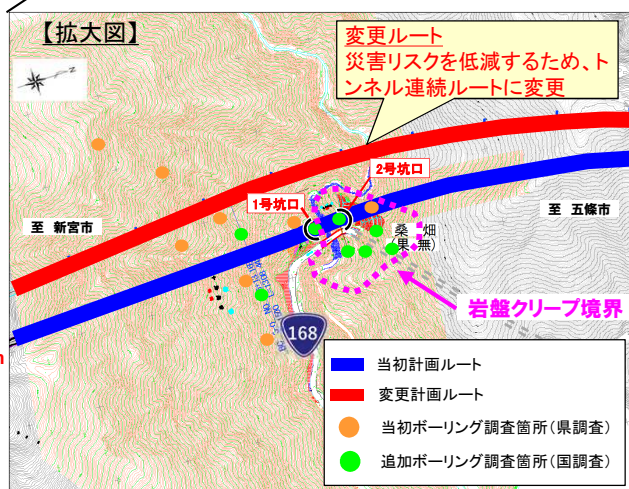
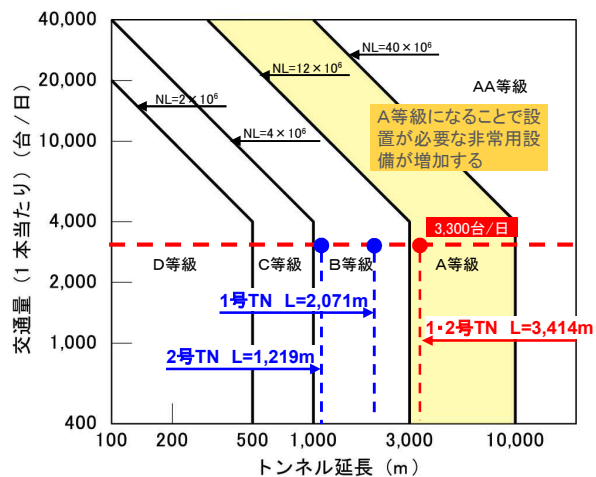
2) 地質条件変更による増 (+6.9億円)

【十津川道路(Ⅱ期)】

- 十津川道路(Ⅱ期)において、事業化後のボーリング調査で坑口付近に将来的に地すべりの可能性がある岩盤クリープが確認されたことにより、坑口付近の岩盤クリープ境界を避けたルートに変更した。
- 当初計画に対しトンネル延長が増加したことで掘削・ずり処理工の費用が増加した。
- また、トンネル延長の増加に伴い防災等級が変更となり、排煙設備等、非常用設備の追加設置が必要となった。



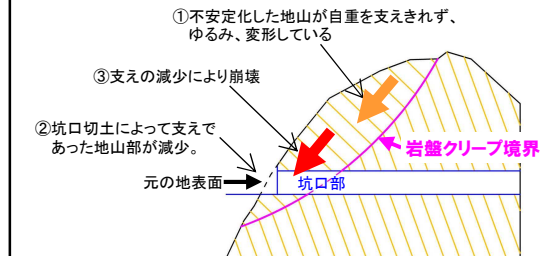
■防災等級の変更(B等級からA等級へ)



■岩盤クリープとは

- ・岩盤が自らの重力によって徐々に変形する現象。
- ・人為的作用により急激な切土を行った場合など、硬質な岩盤といえども崩壊する可能性がある。

■地すべり発生のイメージ



3. 事業費の見直し

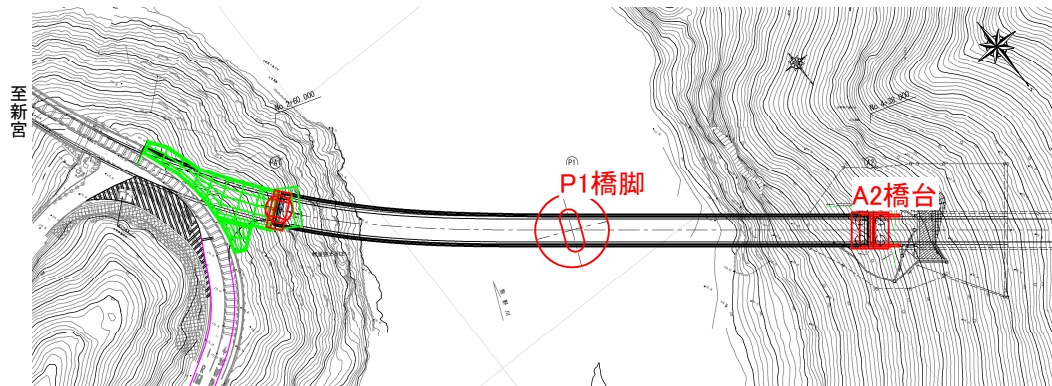
一般国道168号 五條新宮道路

2) 地質条件変更による増 (+15.9億円)

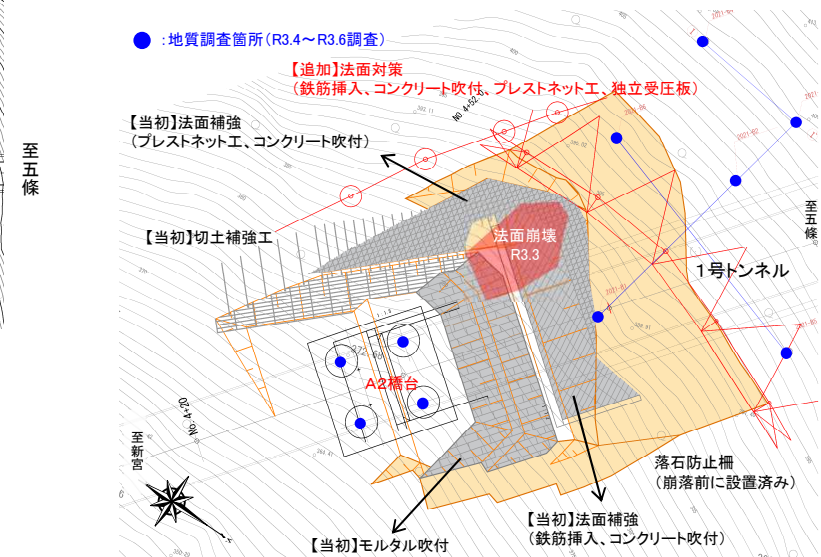
【長殿道路】

- 長殿道路1号橋P1橋脚の基礎部の施工において当初想定よりも硬い地質であったため、岩盤掘削量及び掘削期間を変更した。
- 長殿道路1号橋A2橋台の施工前に法面崩壊により周辺地山状態がぜい弱であったため、現地調査の結果、法面对策範囲を当初より広げた。

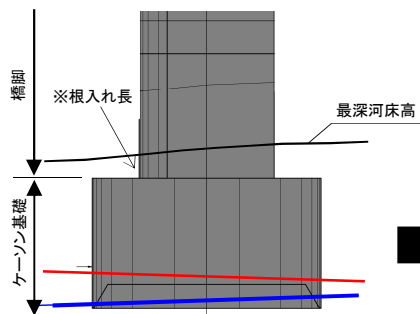
■位置図



■A2橋台 法面对策工の追加



■P1橋脚 ケーソン基礎部の岩質変化



■岩盤の様子



- : 設計時点の岩盤位置(想定)
- : 施工中に確認された岩盤位置

※河川協議の結果、橋脚の根入れ長は、最深河床高より2m以上を確保

■法面崩落状況



■法面对策状況



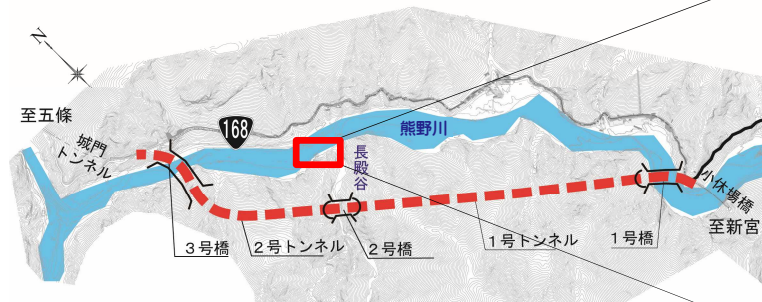
3. 事業費の見直し

一般国道168号 五條新宮道路

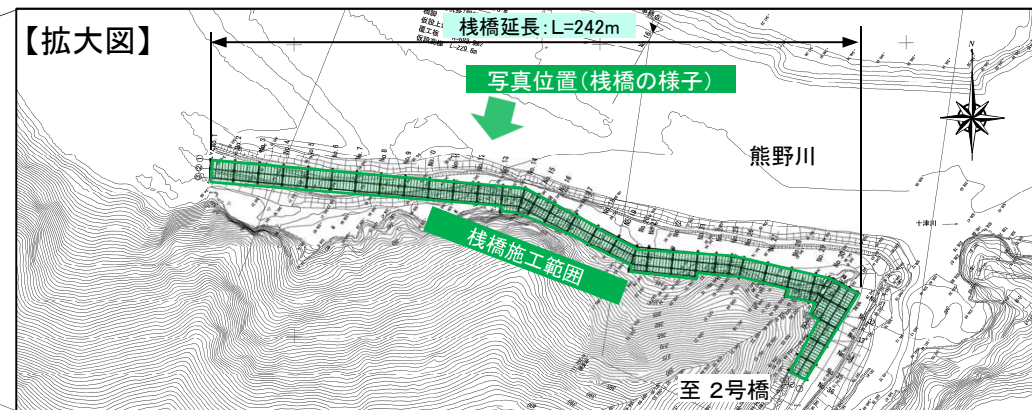
3) 仮設計画の変更による増 (+7.9億円) 【風屋川津・宇宮原工区、長殿道路】

■当初、長殿道路2号橋の施工には河川敷に設置された工事用道路（盛土構造）を活用する計画としていたが、河川の増水により容易に崩壊することから栈橋構造による工事用道路に変更した。その他、風屋川津・宇宮原工区では、仮設計画の見直しにより、仮設栈橋の規模を拡大した。

■位置図(長殿道路)



【拡大図】



■栈橋の様子



■河川増水の様子(H30.6撮影)



■工事用道路(盛土構造)



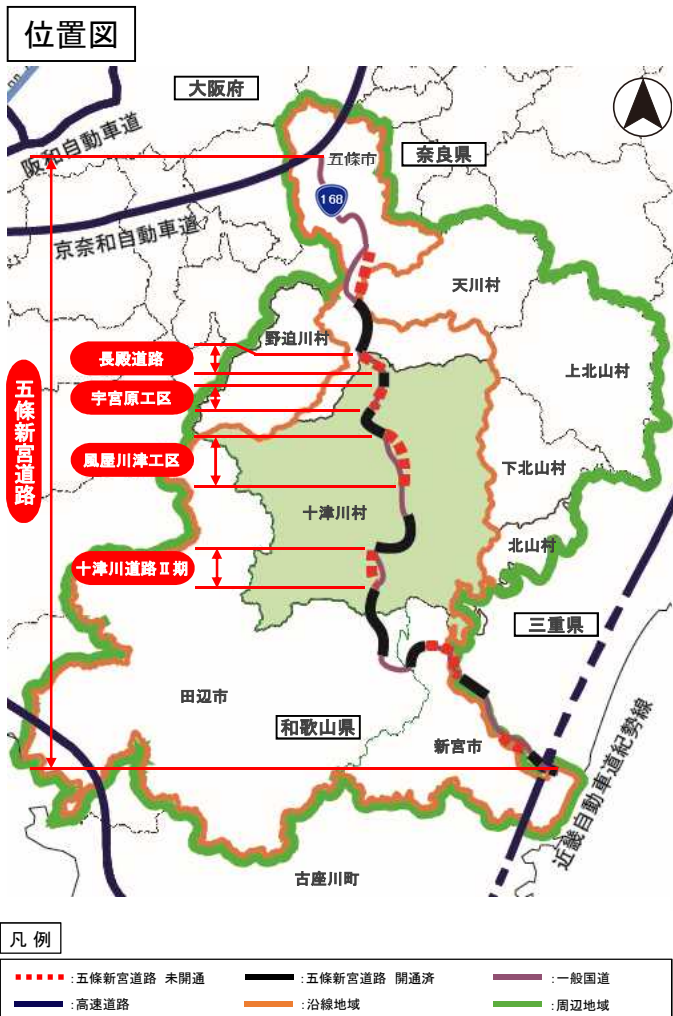
4. 事業の必要性等に関する視点

一般国道168号 五條新宮道路

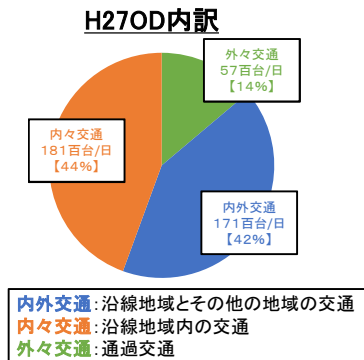
1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

※H30年度事業評価委員会の
評価時点から大きな変化なし

- 国道168号(現道)の交通特性は、沿線地域の交通(内々交通と内外交通)が約8割と多い。
- 沿線地域の人口や世帯数は減少しているが、世帯あたりの自動車保有台数は1.8と高く、依然として自動車への依存が高い地域で、社会経済情勢等に大きな変化はない。

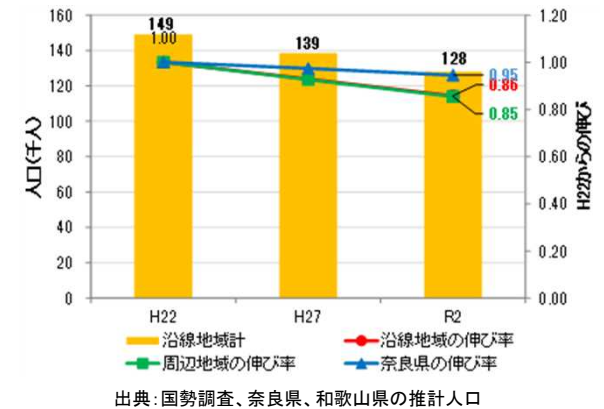


■ 国道168号(現道のOD内訳)

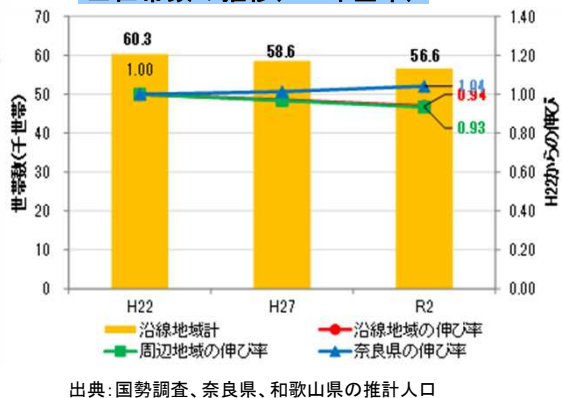


※沿線地域とは、当該道路が通過する五條市、十津川村、田辺市、新宮市
※H27全国道路・街路交通情勢調査の現況OD調査結果を基に算出

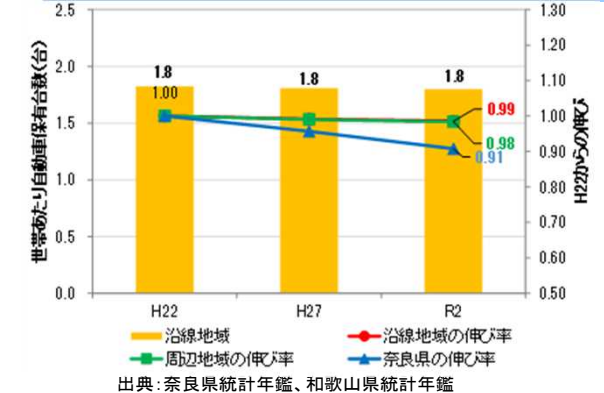
■ 人口の推移(H22年基準)



■ 世帯数の推移(H22年基準)



■ 世帯あたり自動車保有台数の推移(H22基準)



※沿線地域: 一体評価対象事業が通過する市町村(五條市、十津川村、田辺市、新宮市)

※周辺地域: 一体評価対象事業の中心を軸にH27現況再現トリップ長中央値(20.5km)を半径とした範囲に含まれる市町村(五條市、十津川村、野迫川村、天川村、上北山村、下北山村、田辺市、新宮市、北山村)

4. 事業の必要性等に関する視点

一般国道168号 五條新宮道路

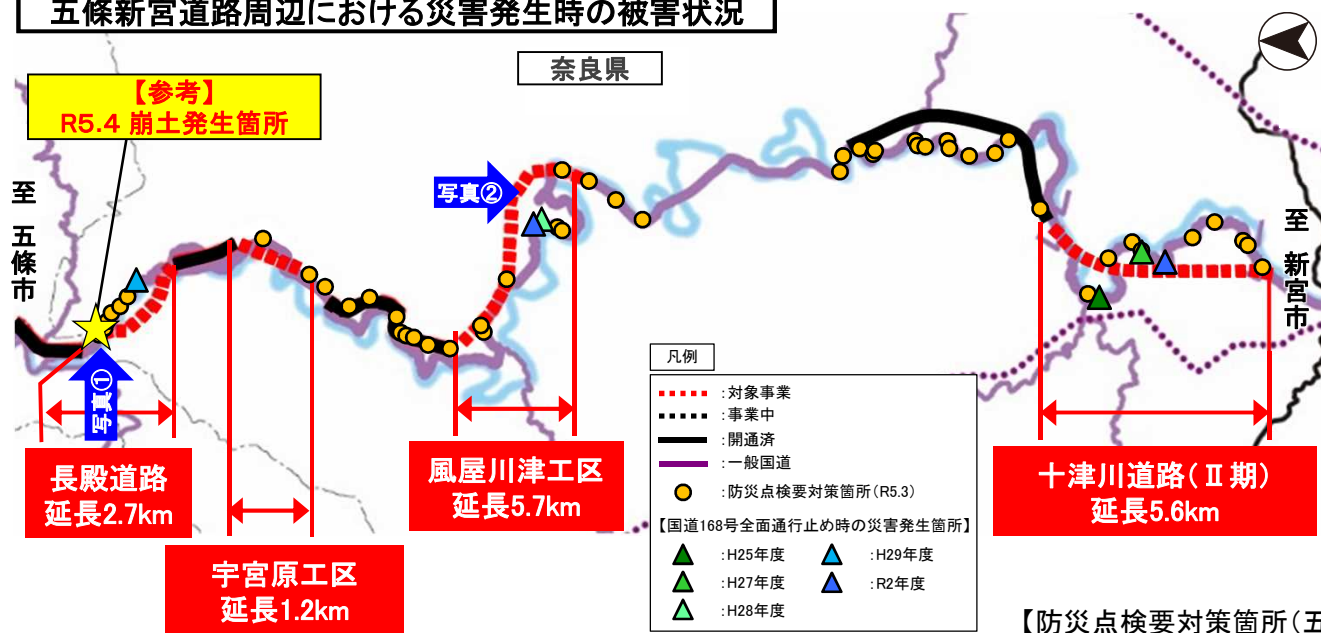
2) 事業の整備効果(災害に強い道路の確保)

【B/C算出における3便益以外の整備効果】

※H30年度事業評価委員会の評価時点から大きな変化なし

- 国道168号の事業区間内(直轄権限代行事業)では過去10年間(H25年度~R4年度)に、6回の全面通行止めが発生。
- ながとの長殿地区では、令和5年4月9日に崩土が発生した影響により、国道168号において10日間の通行止めが発生。
- ごじょうしんぐう五條新宮道路の整備により、防災点検要対策箇所(約8割)を回避・解消するなど、災害に強い道路を確保。
(バイパス区間の道路整備による回避、現道拡幅に関連する法面对策による解消)

五條新宮道路周辺における災害発生時の被害状況

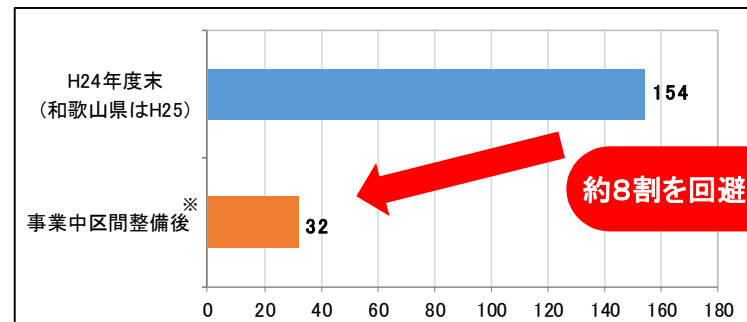


【国道168号の事業区間内(直轄権限代行事業)における過去10年間の通行規制状況】

発生年度	全面通行止め回数			
	落石・崩土			
	長殿	宇宮原	風屋川津	十津川道路Ⅱ期
H25年度	0	0	0	1
H26年度	0	0	0	0
H27年度	0	0	0	1
H28年度	0	0	1	0
H29年度	1	0	0	0
H30年度	0	0	0	0
R1年度	0	0	0	0
R2年度	0	0	1	1
R3年度	0	0	0	0
R4年度	0	0	0	0
小計	1	0	2	3
合計	6			

出典: 奈良県県土マネジメント部資料

【防災点検要対策箇所(五條新宮道路全線)】



※五條新宮道路全線における県事業を含む事業化区間



写真① 国道168号崩土状況(撮影時期: R5.4)



写真② 道路崩壊箇所(撮影時期: H24.6)

4. 事業の必要性等に関する視点

一般国道168号 五條新宮道路

2) 事業の整備効果(安定した交通路の確保)

【B/C算出における3便益以外の整備効果】
 ※H30年度事業評価委員会の評価時点から大きな変化なし

- 国道168号の事業区間内(直轄権限代行事業)では、線形の厳しい箇所が217箇所、自動車同士のすれ違いが困難な幅員狭隘区間が4.6kmあり、安心・安全な交通の確保が課題。
- 五條新宮道路の整備により、ぜい弱な現道区間を回避し、安心・安全な交通を確保。

厳しい平面線形と連続する幅員狭隘区間



課題箇所	長殿道路 延長2.7km		宇宮原工区 延長1.2km		風屋川津工区 延長5.7km		十津川道路(Ⅱ期) 延長5.6km	
	現況	開通後	現況	開通後	現況	開通後	現況	開通後
線形の厳しい箇所 ※1	37箇所	0箇所	13箇所	0箇所	73箇所	0箇所	94箇所	0箇所
幅員狭隘区間 ※2	2.7km	0km	0.2km	0km	1.2km	0km	0.5km	0km



写真 現道狭隘区間
(撮影時期: R5.6)

※1) 曲線半径 ≤ 50m の箇所 ※2) 幅員が 5.5m 未満の区間

4. 事業の必要性等に関する視点

一般国道168号 五條新宮道路

2) 事業の整備効果(医療施設へのアクセス向上)

【B/C算出における3便益以外の整備効果】

※H30年度事業評価委員会の評価時点から大きな変化なし

- ^{とつかわ}十津川村の人工透析患者や周産期妊婦は村外の病院に通院しているが、国道168号の通行止めが発生すると、通院に大きな迂回が生じるため、入院や親類宅に一時転居するなどの対応が必要。
- ^{ごしょうしんぐう}五條新宮道路の整備により落石、崩土などによる通行止めを回避。また、搬送時間の短縮だけでなく、所要時間が安定することで時間信頼性が向上し、患者や通院する住民の負担が軽減され、地域医療の支援に期待。

救急医療施設の位置



国道168号の通行止めの影響

十津川村在住
人工透析患者 15人

通院先	人数
五條病院	8
天理市の病院	1
葛城市の病院	1
新宮市の病院	5

H23.9
台風12号
被害のため
国道168号
通行止

対応方法	人数
五條病院に入院	6
親類宅に一時転居	2
五條市に転居	3
新宮市に転居	3
その他	1

※村全体が孤立したためヘリで搬送

出典:十津川村調べ

周産期妊婦の 定期検診先

十津川村在住
周産期妊婦 8人

通院先	人数
橋本市の病院	2
橿原市の病院	4
天理市の病院	1
堺市の病院	1

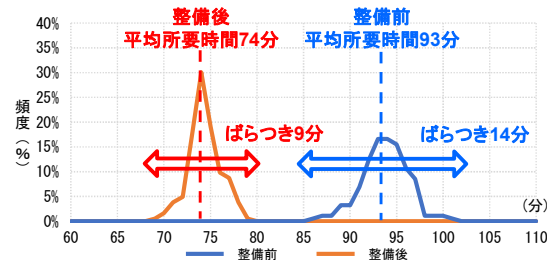
出典:十津川村調べ(R5.7時点)

国道168号通行止め回数(直近10年) (五條新宮道路 事業区間内)

発生年度	五條新宮道路 事業区間内における 全面通行止め回数 (落石、崩土)
H25年度	3
H26年度	0
H27年度	1
H28年度	4
H29年度	1
H30年度	0
R1年度	0
R2年度	2
R3年度	0
R4年度	0
小計	11

搬送時間 十津川村役場～南奈良総合医療センター(大淀町)

所要時間の分布



ETC2.0プローブデータより算出(2021年9～11月 昼間12時間)

※ルート所要時間は地図上のルートの各DRMリンクの

時間帯別平均所要時間を同時刻で総和することで算出。

※所要時間の分布は異常値を棄却した上で作成。

※未整備区間は60km/hで算出。所要時間のばらつきは考慮なし。



大型車のトンネル通過を待つ緊急車両

資料提供:奈良県

通行止め回避により救命サービス向上

出典:奈良県県土マネジメント部資料

4. 事業の必要性等に関する視点

一般国道168号 五條新宮道路

2) 事業の整備効果(地域の活性化)

【B/C算出における3便益以外の整備効果】

※H30年度事業評価委員会の評価時点から大きな変化なし

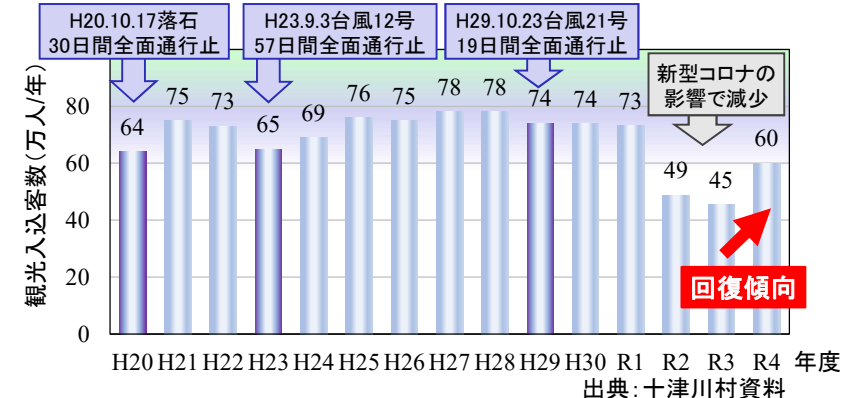
- 奈良、和歌山、三重の3県にまたがる紀伊半島には、自然と歴史に富んだ観光地が数多く存在。
- 十津川村の観光入込客数はコロナ禍によって一時減少したものの、現在は回復傾向。
- 十津川村では、H23紀伊半島大水害を契機に村をあげて林業再生に取り組んでおり、原木生産量はH23に比べると1.5倍に増加。
- 五條新宮道路の整備により、京阪神地域や中京地域の周遊機能が向上し、沿線の観光施設への観光客数の増加が期待。また、地域への物流のアクセス性向上等により地域の活性化を支援。



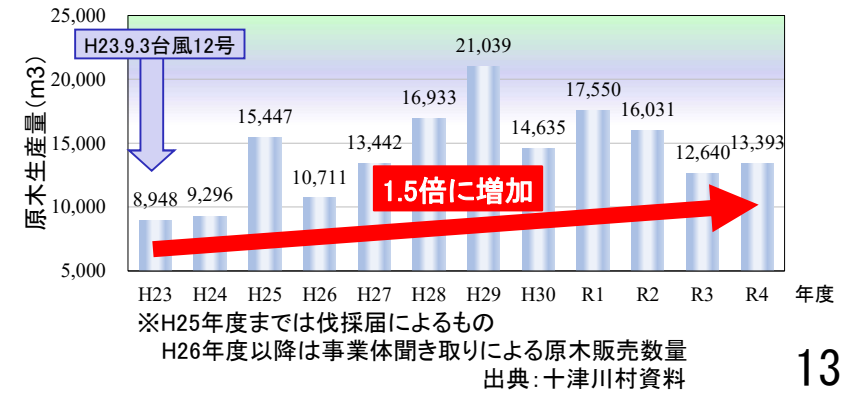
・十津川村周辺の道路整備徐々に進み、大型バスが走りやすくなったと最近好評です。
 ・今後、五條新宮道路が整備されると、京阪神からの紀伊半島各地を巡る観光ツアーを企画しやすくなり、大きなチャンスだと思います。

出典：国道168号(五條・新宮間)整備促進協議会【整備効果資料】より

【十津川村の観光入込客数】



【林業の原木生産量の推移】



4. 事業の必要性等に関する視点

一般国道168号 五條新宮道路

3) 事業の投資効果

■ 便益(B)

道路事業に関わる便益は、令和22年度の交通量を、整備の有無それぞれについて推計し、「費用便益分析マニュアル」に基づき3便益を計上。

【3便益：走行時間短縮便益、走行経費減少便益、交通事故減少便益】

■ 費用(C)

道路整備に係る建設費、及び維持管理費で算出。

※B/C算出対象区間は、和歌山県新宮市～奈良県五條市である

■ 事業全体

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比(B/C)
	4,625億円	201億円	6.2億円	4,833億円	1.3
費用(C)	事業費	維持管理費	更新費	総費用	
	3,584億円	176億円	60億円	3,819億円	

■ 算出条件等

基準年	: 令和5年度
検討期間	: 50年間
現在価値算出のための社会的割引率	: 4%
交通量の推計時点	: 令和22年度
交通量の推計手法	: 平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査
適用した費用便益分析マニュアル	: 令和4年2月版
事業費	: 2,858億円
維持管理費	: 13百万円/km
作成主体	: 近畿地方整備局

■ 残事業

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比(B/C)
	1,138億円	65億円	2.7億円	1,206億円	1.1
費用(C)	事業費	維持管理費	更新費	総費用	
	1,016億円	81億円	-	1,097億円	

※1 便益・費用については、現在価値化した値である（便益算出する原単位は令和2年価格により算出）

※2 便益・費用については整数値としており、合計値は表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある

※3 残事業については、基準年の翌年度以降の残事業費及び翌年度以降の供用により発生する便益で算出している

※4 事業区間を十津川道路（Ⅱ期）として算出した費用便益費（B/C）

事業区間を五條新宮道路（風屋川津・宇宮原工区）として算出した費用便益費（B/C）

事業区間を長殿道路として算出した費用便益費（B/C）

【事業全体】 1.2 【残事業】 1.2

【事業全体】 0.9 【残事業】 0.9

【事業全体】 0.8 【残事業】 1.3

4. 事業の必要性等に関する視点

一般国道168号 五條新宮道路

4) 地域における計画等

■地域における計画

- ◇奈良県道路整備基本計画(奈良県:R1. 10)
- ◇奈良県南部・東部振興基本計画(奈良県:R3. 3)
- ◇奈良県南部・東部振興基本計画令和4年度アクション・プラン(奈良県:R4. 6)
- ◇第2期奈良県国土強靱化地域計画(奈良県:R3. 3)
- ◇五條市都市計画マスタープラン(五條市:R3. 3)
- ◇第2期十津川村こころ豊かなむら・ひと・しごと創生総合戦略(十津川村:R2. 3)

■これまでの経緯

- ◇国道168号(五條・新宮間)整備促進協議会
(構成メンバー) 和歌山県：新宮市、田辺市、太地町、那智勝浦町、北山村
奈良県：五條市、十津川村、野迫川村
三重県：紀宝町、熊野市、御浜町 計11市町村
(最近の動向) 令和5年8月 国道168号「高規格道路五條新宮道路」の
早期整備を要望
- ◇内吉野土木協議会
(構成メンバー) 五條市、野迫川村、十津川村 計3市村
(最近の動向) 令和5年8月 重要物流道路五條新宮道路の整備促進を要望
- ◇奈良県国道連絡会
(構成メンバー) 奈良県全域 12市15町12村 計39市町村
(最近の動向) 令和5年7月 国道168号の道路ネットワークの強化を要望

5. 事業の進捗の見込みの視点

一般国道168号 五條新宮道路

1) 事業の進捗状況

令和5年度事業内容

- 【十津川道路(Ⅱ期)】 : 調査設計、用地取得
- 【五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)】 : 調査設計、用地取得、橋梁工事
- 【長殿道路】 : 調査設計、用地取得、橋梁工事

進捗状況(令和5年3月末時点)

- 【十津川道路(Ⅱ期)】 : 用地取得率約42%(面積ベース)、事業進捗率約1%(事業費ベース)※
- 【五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)】 : 用地取得率約7%(面積ベース)、事業進捗率約5%(事業費ベース)※
- 【長殿道路】 : 用地取得率約62%(面積ベース)、事業進捗率約33%(事業費ベース)※

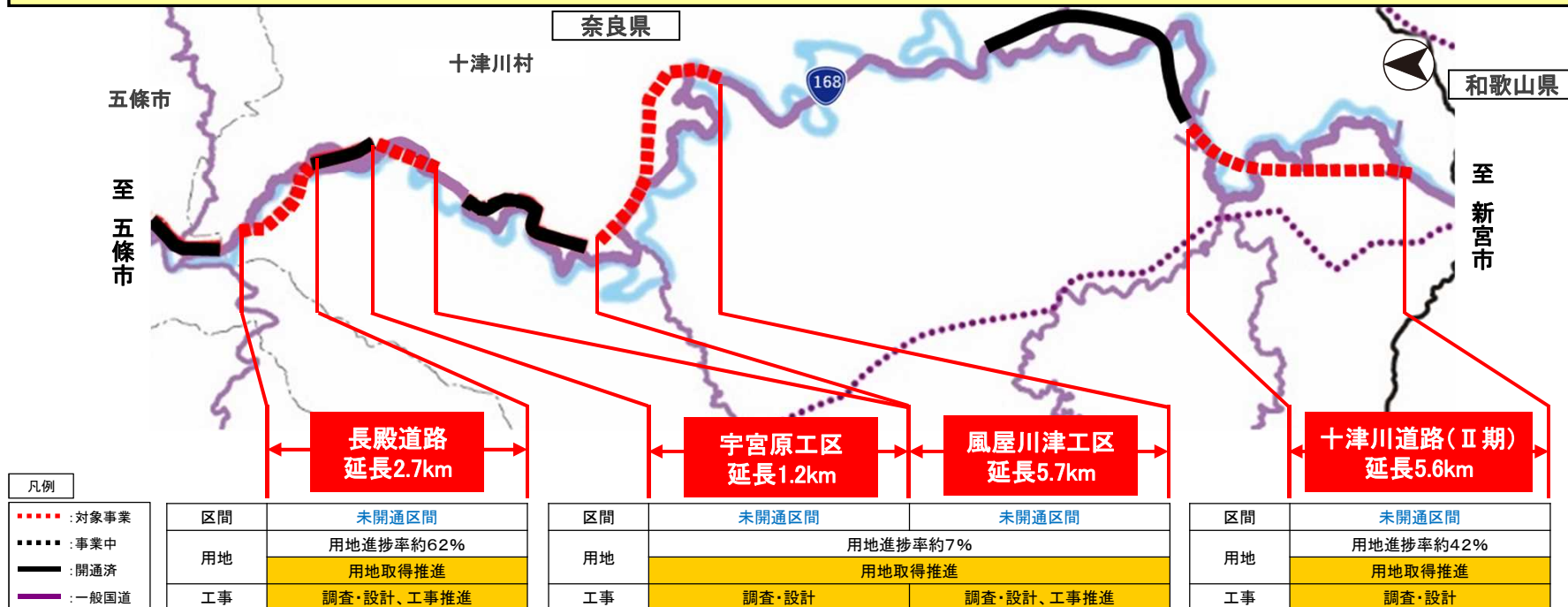
事業進捗上の課題

- 【十津川道路(Ⅱ期)】 : 調査設計を進め、事業内容を精査していきます。
- 【五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)】 : 用地取得の進捗を図るとともに、コスト縮減にも取組み工事を推進します。
- 【長殿道路】 : 早期に用地取得を完了し、コスト縮減の取組みも進めながら工事推進を図ります。

2) 今後の事業スケジュール等

・引き続き、調査・設計、工事を推進し、早期の開通を目指していきます。

※R5再評価後の事業費に対する進捗率(令和5年3月末進捗状況から算出)



※用地進捗率はR5年3月末時点の面積ベース。

6. コスト縮減や代替案等の可能性の視点

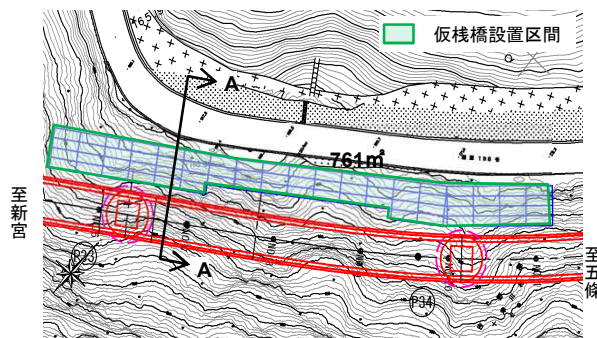
一般国道168号 五條新宮道路

- 仮設工の構造変更、トンネル内水路形状の見直し等により、「3項目合計」約2.4億円のコスト縮減を実施。
- 橋梁構造の規模縮小、仮設計画の見直しによる更なるコスト縮減についても検討中。
- 今後も、技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進していきます。

仮設工の見直しによるコスト縮減(十津川道路(Ⅱ期)) 【▲1.4億円】

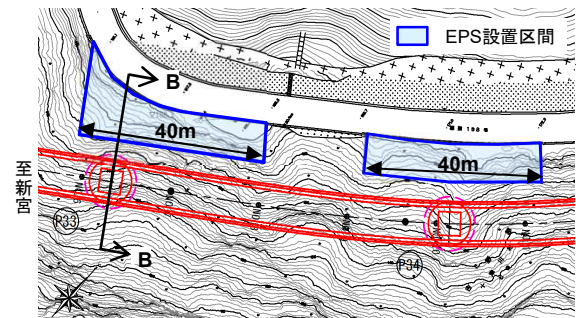
- 1号橋の施工に要する仮設工の一部を仮栈橋から軽量盛土(EPS工法)に変更することで、コスト縮減を図る。
- 今後も、技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進していきます。

■当初計画(1号橋仮栈橋)



A-A断面

■変更後計画(軽量盛土)



B-B断面

※設置した盛土構造は現道168号の非常駐車帯として活用予定。

その他コスト縮減対策を行った項目【▲1.0億円】

- トンネル内の排水を円形水路から薄型円形水路に変更(風屋川津・宇宮原工区、長殿道路) 【▲0.8億円】
- トンネル監視員通路の側壁を現場打ちコンクリートからプレキャスト製品に変更(風屋川津・宇宮原工区) 【▲0.2億円】

コスト縮減対策として検討している項目

- PC橋のコンクリート量を縮減できる橋梁形式に見直すことによる橋梁下部構造の規模縮小(十津川道路(Ⅱ期))
- 橋梁施工の仮設計画を見直すことによる仮栈橋の規模縮小(風屋川津・宇宮原工区)
- トンネル掘削発生土の運搬ルートを見直すことによる発生土運搬費の縮小(長殿道路)

7. 関係自治体の意見

一般国道168号 五條新宮道路

■奈良県知事

国道168号五條新宮道路は、京奈和自動車道や国道169号と一体となって「紀伊半島アンカールート」を形成し、今後発生が危惧される南海トラフ巨大地震などの大規模災害への対応や救急医療を支える「命の道」として、紀伊半島全体の強靱化を図るとともに、本県南部地域の観光や林業の振興といった地方創生に資する極めて重要な高規格道路です。

しかしながら、現道である国道168号は、狭隘区間やカーブが多いため、走行性が悪く、かつ、災害にも脆弱であることから、十津川道路(Ⅱ期)、五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)、長殿道路の各事業を早期に整備することで、交通の円滑化や安全、安心の確保が図られ、さらなる地域の活性化が期待できます。

県としても、阪本工区、新天辻工区の整備を鋭意進めているところであり、紀伊半島の強靱化や南部地域の地方創生のため、五條新宮道路の事業継続は不可欠です。

以上のことから、対応方針(原案)のとおり、事業継続が妥当と考えます。

なお、事業継続にあたり、より一層のコスト縮減等に努めて頂きたい。

県としては、円滑な事業推進のための環境整備の推進や沿線の自治体との調整に努めますので、早期の供用に向けた確実な事業推進をお願いします。

7. 関係自治体の意見

一般国道168号 五條新宮道路

◆沿線市町村の期待

■十津川村長

(道路整備に期待する効果)

①防災

- ・紀伊半島アンカールートを担う五條新宮道路の整備により、大規模災害発生直後より迅速な救助や支援が受けられるとともに、紀伊半島の強靱化に繋がる。
- ・長殿道路及び宇宮原工区は安全・安心な集落づくりを進める谷瀬地区と隣接しており、道路整備により事業の更なる推進に期待。

②観光

- ・県内外からのアクセス向上に伴う十津川温泉等観光地の来客数増加。
- ・アクセス向上により観光地での長時間滞在や、紀伊半島周遊など新たな観光コースの創設。

③地域の活性化

- ・村外へのアクセス向上により、物流コスト低下に伴う林業の活性化に期待。
- ・観光地へのアクセス向上により、観光産業の活性化に伴う人口減少の歯止めを期待。
- ・地域外への通勤時間短縮に伴い、人口減少の歯止めを期待。
- ・地域内での通行止め日数の減少や通学時間の短縮により、学習及び部活動の時間が確保でき学力・体力向上に期待。

④医療施設へのアクセス向上

- ・走行性の向上により搬送患者等の負担軽減、医療施設までの所要時間短縮により助かる命が増えることに期待。

(村の取り組み)

①防災

- ・点在する集落から国道168号へのアクセスルートの点検・改良を推進。
- ・全世帯に防災タブレットを配布し、迅速な情報発信(共有)に努める。
- ・全大字に衛星携帯電話を配置し、情報収集機能の強化を推進。

②観光

- ・玉置神社へのバス乗り入れに対応した道路整備を推進。
- ・大阪府泉南市・和歌山県田辺市と連携し、インバウンドを含めた関西国際空港からの広域観光周遊ルートの誘客推進。
- ・令和6年度に迎える源泉かけ流し宣言・世界遺産登録ダブル20周年事業を契機とした、村民の「賑わいづくり」や「憩いの場」の創出。
- ・シーズンを通じたイベント等を計画・強化し観光客等の誘客を推進。

③地域の活性化

- ・観光地、集落の活性化を話し合う活性化協議会を立ち上げ、地域の情報発信や地域のコミュニティ作りを推進。

8. 対応方針(原案)

一般国道168号 五條新宮道路

五條新宮道路は、事業の必要性等に関する視点、事業の進捗の見込みの視点から継続が妥当と判断できる。

引き続き事業を推進し、早期の供用を目指すことが適切である。

事業継続



一般国道168号

ご じょうしんぐう

五條新宮道路

No. 3

近畿地方整備局
事業評価監視委員会
令和5年度第4回

と つ かわ

十津川道路(Ⅱ期)

ご じょうしんぐう

かぜ や かわ つ う ぐ わら

五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)

なが との

長殿道路

【計算結果等参考資料】

令和5年12月

近畿地方整備局

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道168号	五條新宮道路	L = 130.0km	地域高規格	現拡・BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
3,900	2車線	近畿地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	更新費	合計
基準年	令和5年度			
単純合計	2,651億円	445億円	287億円	3,382億円
うち残事業分	2,389億円	258億円		2,647億円
基準年における 現在価値 (C)	3,584億円	176億円	60億円	3,819億円
うち残事業分	1,016億円	81億円		1,097億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和5年度			
供用年	平成17年度、平成18年度、平成19年度、平成21年度、 平成22年度、平成24年度、平成25年度、平成26年度、 平成28年度、平成30年度、令和2年度、令和7年度、 令和9年度、令和11年度、令和12年度、令和18年度			
単年便益 (初年便益)	4.8億円	0.34億円	0.02億円	5.1億円
基準年における 現在価値 (B)	4,625億円	201億円	6.2億円	4,833億円
うち残事業分	1,138億円	65億円	2.7億円	1,206億円

注) 「供用年」は、便益算定上の仮定の供用年である。

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.3
経済的純現在価値（事業全体）	1,013億円
経済的内部収益率（事業全体）	5.3%
費用便益比（残事業）	1.1
経済的純現在価値（残事業）	108億円
経済的内部収益率（残事業）	4.6%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	3,900台/日	±10%	1.1~1.4
事業費	2,651億円	±10%	1.2~1.3
事業期間	48年	±20%	1.3~1.3

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	3,900台/日	±10%	0.99~1.2
事業費	2,389億円	±10%	1.01~1.2
事業期間	12年	±20%	1.05~1.2

交通状況の変化

様式-3①

事業名：五條新宮道路（事業全体）

（推計時点 令和22年）

			整備なし (A)	整備あり (B)
①新設・改築道路 (62.0km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	0	3,900
	走行時間 ^{※2}	[分]	0	70
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	0.00	59.59
②主な周辺道路 ^{※4} 一般国道 168号 (68.2km)	交通量	[台/日]	3,100	100
	走行時間	[分]	287	173
	走行時間費用	[億円/年]	177.06	4.29
③その他道路合計 (9,443.3km)	走行時間費用	[億円/年]	69,360.07	69,318.15

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：9,573.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	69,537.12	69,382.03	155.09

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

様式-3①

事業名：五條新宮道路（残事業）

（推計時点 令和22年）

			整備なし (A)	整備あり (B)
①新設・改築道路 【未供用区間】 (35.0km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	0	3,900
	走行時間 ^{※2}	[分]	0	39
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	0.00	33.52
①新設・改築道路 【供用区間】 (27.0km)	交通量	[台/日]	3,300	3,900
	走行時間	[分]	30	31
	走行時間費用	[億円/年]	21.27	26.07
②主な周辺道路 ^{※4} 一般国道 168号 (68.2km)	交通量	[台/日]	2,200	100
	走行時間	[分]	223	173
	走行時間費用	[億円/年]	95.32	4.29
③その他道路合計 (9,443.3km)	走行時間費用	[億円/年]	69,333.47	69,318.15

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：9,573.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	69,450.06	69,382.03	68.04

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：五條新宮道路

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (令和4年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	令和5年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (令和22年)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H27全国道路・街路 交通情勢調査)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
その他()			
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>	
	最終配分の速度 採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄	
休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
		対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
		採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
		とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他 ()	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>	
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>	
その他			

便益の算定

費用の現在価値算定表(事業全体)

箇所名: 一般国道168号 五條新宮道路

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.13	62	7.89

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-48年目	S 63	3.9461	104.7	0.80	3.07				
-47年目	H 1	3.7943	107.5	1.17	4.19				
-46年目	H 2	3.6484	109.9	1.65	5.58				
-45年目	H 3	3.5081	112.5	8.15	25.88				
-44年目	H 4	3.3731	114.1	8.15	24.55				
-43年目	H 5	3.2434	114.4	8.45	24.37				
-42年目	H 6	3.1187	114.3	9.31	25.86				
-41年目	H 7	2.9987	113.7	7.44	19.96				
-40年目	H 8	2.8834	113.2	22.67	58.78				
-39年目	H 9	2.7725	114.2	23.51	58.10				
-38年目	H 10	2.6658	113.6	28.48	68.04				
-37年目	H 11	2.5633	112.0	31.12	72.50				
-36年目	H 12	2.4647	110.7	47.22	107.02				
-35年目	H 13	2.3699	109.4	60.77	134.01				
-34年目	H 14	2.2788	107.6	63.45	136.80				
-33年目	H 15	2.1911	106.1	67.51	141.93				
-32年目	H 16	2.1068	105.0	70.61	144.23				
部分供用開始	H 17	2.0258	103.7	55.87	111.11	0.15	0.29		
部分供用開始	H 18	1.9479	103.0	49.40	95.10	0.22	0.43		
部分供用開始	H 19	1.8730	102.1	65.69	122.67	0.33	0.62		
部分3年目	H 20	1.8009	101.6	70.42	127.07	0.33	0.60		
部分供用開始	H 21	1.7317	100.3	76.22	133.96	0.41	0.71		
部分供用開始	H 22	1.6651	98.6	95.85	164.78	0.54	0.93		
部分6年目	H 23	1.6010	97.2	73.97	124.03	0.54	0.91		
部分供用開始	H 24	1.5395	96.4	47.93	77.92	1.65	2.68		
部分供用開始	H 25	1.4802	96.4	36.06	56.36	1.79	2.80		
部分供用開始	H 26	1.4233	98.7	31.48	46.22	1.81	2.65		
部分10年目	H 27	1.3686	100.2	22.81	31.72	1.81	2.51		
部分供用開始	H 28	1.3159	100.2	39.92	53.37	2.06	2.75		
部分12年目	H 29	1.2653	100.5	44.31	56.78	2.06	2.64		
部分供用開始	H 30	1.2167	100.4	36.48	45.01	2.12	2.62		
部分14年目	R 1	1.1699	101.2	31.78	37.40	2.12	2.50		
部分供用開始	R 2	1.1249	101.9	41.85	47.03	2.56	2.88		
部分16年目	R 3	1.0816	101.8	52.90	57.22	2.56	2.77		
部分17年目	R 4	1.0400	101.8	78.79	81.94	2.56	2.67		
部分18年目	R 5	1.0000	101.8	43.71	43.71	2.56	2.56		
部分19年目	R 6	0.9615	101.8	62.31	59.92	2.56	2.46		
部分供用開始	R 7	0.9246	101.8	148.36	137.17	2.64	2.45		
部分21年目	R 8	0.8890	101.8	256.29	227.84	2.64	2.35		
部分供用開始	R 9	0.8548	101.8	275.86	235.81	2.73	2.33		
部分23年目	R 10	0.8219	101.8	231.93	190.62	2.73	2.24		
部分供用開始	R 11	0.7903	101.8	115.08	90.95	4.26	3.37		
部分供用開始	R 12	0.7599	101.8	22.15	16.84	6.73	5.11		
部分26年目	R 13	0.7307	101.8	23.66	17.29	6.73	4.92		
部分27年目	R 14	0.7026	101.8	27.43	19.27	6.73	4.73		
部分28年目	R 15	0.6756	101.8	14.89	10.06	6.73	4.54		
部分29年目	R 16	0.6496	101.8	9.35	6.07	6.73	4.37		
部分30年目	R 17	0.6246	101.8	7.36	4.60	6.73	4.20		
供用開始年次	R 18	0.6006	101.8			7.17	4.31		
1年目	R 19	0.5775	101.8			7.17	4.14		
2年目	R 20	0.5553	101.8			7.17	3.98		
3年目	R 21	0.5339	101.8			7.17	3.83		
4年目	R 22	0.5134	101.8			7.17	3.68		
5年目	R 23	0.4936	101.8			7.17	3.54		
6年目	R 24	0.4746	101.8			7.17	3.40		
7年目	R 25	0.4564	101.8			7.17	3.27		
8年目	R 26	0.4388	101.8			7.17	3.15		
9年目	R 27	0.4220	101.8			7.17	3.03		
10年目	R 28	0.4057	101.8			7.17	2.91		
11年目	R 29	0.3901	101.8			7.17	2.80		
12年目	R 30	0.3751	101.8			7.17	2.69		
13年目	R 31	0.3607	101.8			7.17	2.59		
14年目	R 32	0.3468	101.8			7.17	2.49		
15年目	R 33	0.3335	101.8			7.17	2.39		
16年目	R 34	0.3207	101.8			7.17	2.30		
17年目	R 35	0.3083	101.8			7.17	2.21		
18年目	R 36	0.2965	101.8			7.17	2.13		
19年目	R 37	0.2851	101.8			7.17	2.04		
20年目	R 38	0.2741	101.8			7.17	1.97	84.10	23.05
21年目	R 39	0.2636	101.8			7.17	1.89	0.70	0.18
22年目	R 40	0.2534	101.8			7.17	1.82	6.10	1.55
23年目	R 41	0.2437	101.8			7.17	1.75		
24年目	R 42	0.2343	101.8			7.17	1.68	11.20	2.62
25年目	R 43	0.2253	101.8			7.17	1.62		
26年目	R 44	0.2166	101.8			7.17	1.55		
27年目	R 45	0.2083	101.8			7.17	1.49		
28年目	R 46	0.2003	101.8			7.17	1.44	29.20	5.85
29年目	R 47	0.1926	101.8			7.17	1.38	41.60	8.01
30年目	R 48	0.1852	101.8			7.17	1.33		
31年目	R 49	0.1780	101.8			7.17	1.28	12.90	2.30
32年目	R 50	0.1712	101.8			7.17	1.23		
33年目	R 51	0.1646	101.8			7.17	1.18	52.30	8.61
34年目	R 52	0.1583	101.8			7.17	1.14		
35年目	R 53	0.1522	101.8			7.17	1.09	48.50	7.38
36年目	R 54	0.1463	101.8			7.17	1.05		
37年目	R 55	0.1407	101.8			7.17	1.01		
38年目	R 56	0.1353	101.8			7.17	0.97		
39年目	R 57	0.1301	101.8			7.17	0.93		
40年目	R 58	0.1251	101.8			7.17	0.90		
41年目	R 59	0.1203	101.8			7.17	0.86		
42年目	R 60	0.1157	101.8			7.17	0.83		
43年目	R 61	0.1112	101.8			7.17	0.80		
44年目	R 62	0.1069	101.8			7.17	0.77		
45年目	R 63	0.1028	101.8			7.17	0.74		
46年目	R 64	0.0989	101.8			7.17	0.71		
47年目	R 65	0.0951	101.8			7.17	0.68		
48年目	R 66	0.0914	101.8			7.17	0.66		
49年目	R 67	0.0879	101.8	-7.85	-0.69	7.17	0.63		
合計				2642.72	3584.02	444.72	175.85	286.60	59.55
単純事業費計				2650.57		444.72		286.60	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道168号 五條新宮道路

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.14	35.0	5.07

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-12年目	R 6	0.9615	101.8	62.31	59.92				
部分供用開始	R 7	0.9246	101.8	148.36	137.17	0.08	0.08		
部分1年目	R 8	0.8890	101.8	256.29	227.84	0.08	0.07		
部分供用開始	R 9	0.8548	101.8	275.86	235.81	0.16	0.14		
部分3年目	R 10	0.8219	101.8	231.93	190.62	0.16	0.13		
部分供用開始	R 11	0.7903	101.8	115.08	90.95	1.70	1.34		
部分供用開始	R 12	0.7599	101.8	22.15	16.84	4.16	3.16		
部分6年目	R 13	0.7307	101.8	23.66	17.29	4.16	3.04		
部分7年目	R 14	0.7026	101.8	27.43	19.27	4.16	2.93		
部分8年目	R 15	0.6756	101.8	14.89	10.06	4.16	2.81		
部分9年目	R 16	0.6496	101.8	9.35	6.07	4.16	2.70		
部分10年目	R 17	0.6246	101.8	7.36	4.60	4.16	2.60		
供用開始年次	R 18	0.6006	101.8			4.61	2.77		
1年目	R 19	0.5775	101.8			4.61	2.66		
2年目	R 20	0.5553	101.8			4.61	2.56		
3年目	R 21	0.5339	101.8			4.61	2.46		
4年目	R 22	0.5134	101.8			4.61	2.37		
5年目	R 23	0.4936	101.8			4.61	2.28		
6年目	R 24	0.4746	101.8			4.61	2.19		
7年目	R 25	0.4564	101.8			4.61	2.10		
8年目	R 26	0.4388	101.8			4.61	2.02		
9年目	R 27	0.4220	101.8			4.61	1.95		
10年目	R 28	0.4057	101.8			4.61	1.87		
11年目	R 29	0.3901	101.8			4.61	1.80		
12年目	R 30	0.3751	101.8			4.61	1.73		
13年目	R 31	0.3607	101.8			4.61	1.66		
14年目	R 32	0.3468	101.8			4.61	1.60		
15年目	R 33	0.3335	101.8			4.61	1.54		
16年目	R 34	0.3207	101.8			4.61	1.48		
17年目	R 35	0.3083	101.8			4.61	1.42		
18年目	R 36	0.2965	101.8			4.61	1.37		
19年目	R 37	0.2851	101.8			4.61	1.31		
20年目	R 38	0.2741	101.8			4.61	1.26		
21年目	R 39	0.2636	101.8			4.61	1.21		
22年目	R 40	0.2534	101.8			4.61	1.17		
23年目	R 41	0.2437	101.8			4.61	1.12		
24年目	R 42	0.2343	101.8			4.61	1.08		
25年目	R 43	0.2253	101.8			4.61	1.04		
26年目	R 44	0.2166	101.8			4.61	1.00		
27年目	R 45	0.2083	101.8			4.61	0.96		
28年目	R 46	0.2003	101.8			4.61	0.92		
29年目	R 47	0.1926	101.8			4.61	0.89		
30年目	R 48	0.1852	101.8			4.61	0.85		
31年目	R 49	0.1780	101.8			4.61	0.82		
32年目	R 50	0.1712	101.8			4.61	0.79		
33年目	R 51	0.1646	101.8			4.61	0.76		
34年目	R 52	0.1583	101.8			4.61	0.73		
35年目	R 53	0.1522	101.8			4.61	0.70		
36年目	R 54	0.1463	101.8			4.61	0.67		
37年目	R 55	0.1407	101.8			4.61	0.65		
38年目	R 56	0.1353	101.8			4.61	0.62		
39年目	R 57	0.1301	101.8			4.61	0.60		
40年目	R 58	0.1251	101.8			4.61	0.58		
41年目	R 59	0.1203	101.8			4.61	0.55		
42年目	R 60	0.1157	101.8			4.61	0.53		
43年目	R 61	0.1112	101.8			4.61	0.51		
44年目	R 62	0.1069	101.8			4.61	0.49		
45年目	R 63	0.1028	101.8			4.61	0.47		
46年目	R 64	0.0989	101.8			4.61	0.46		
47年目	R 65	0.0951	101.8			4.61	0.44		
48年目	R 66	0.0914	101.8			4.61	0.42		
49年目	R 67	0.0879	101.8	-0.59	-0.05	4.61	0.41		
合計				1194.09	1016.39	257.63	80.84	0.00	0.00
単純事業費計					2389.36		257.63		0.00

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

(再評価)

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	五條新宮道路 (一般国道168号 十津川道路(Ⅱ期))
事業主体	近畿地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 便益が費用を上回っている	(一併評価) 全事業：費用便益比(B/C)=1.3(経済的純現在価値(B-C)=1013億円、経済的内部収益率(EIRR)=5.3%) 残事業：費用便益比(B/C)=1.1(経済的純現在価値(B-C)=108億円、経済的内部収益率(EIRR)=4.6%) (十津川道路(Ⅱ期)) 全事業：費用便益比(B/C)=1.2(経済的純現在価値(B-C)=59億円、経済的内部収益率(EIRR)=5.0%) 残事業：費用便益比(B/C)=1.2(経済的純現在価値(B-C)=65億円、経済的内部収益率(EIRR)=5.1%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a(費用便益分析対象区間)について 渋滞損失時間(現況)：13143万人・時間/年 渋滞損失削減時間：13万人・時間/年(13143万人・時間/年⇒13130万人・時間/年) 区間b(当該区間/並行区間)について：一般国道168号 並行区間等(当該区間)の渋滞損失時間：14万人・時間/年 並行区間等(当該区間)の渋滞損失削減率：9割削減
		<input type="checkbox"/> 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		<input type="checkbox"/> 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	奈良交通、十津川村営バス
		<input checked="" type="checkbox"/> 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	十津川村～新宮駅(所要時間：76分→68分)
		<input checked="" type="checkbox"/> 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	十津川村～南紀白浜空港駅(所要時間：109分→101分)
	物流効率化の支援	<input checked="" type="checkbox"/> 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	十津川村～和歌山下津港(所要時間：158分→150分)
		<input checked="" type="checkbox"/> 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上が見込まれる	スギ、ヒノキ
<input type="checkbox"/> 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する			

1. 活力	都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		<input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である	
		<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り	
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	五條新宮道路
		<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	新宮市～五條市(所要時間:約160分→約152分)
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	国道168号(十津川村大字七色～平谷)
	個性ある地域の形成	<input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	十津川村～新宮市(所要時間:約76分→約68分)
		<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	観光地域づくり実践プラン 「紀伊山地の霊場と参詣道」吉野・熊野・高野“ぐるっと”プロジェクト
		<input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	十津川温泉郷(年間観光客入込客数:173千人/年 R4年)
		<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
		<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される。	
	2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り
<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する			
	無電柱化による美しい町並みの形成		
	安全で安心できるくらしの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	十津川村～南和歌山医療センター(所要時間:約97分→約89分)

3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	奈良県地域防災計画（第1次緊急輸送道路）
		<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	国道42号（和歌山市～新宮市）
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	防災点検要対策箇所数=10箇所（国道168号 十津川村大字七色～平谷間）
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	異常気象時通行規制区間 国道168号 十津川村七色～十津川村小原（20.0km）（十津川村大字七色～平谷解消）
		<input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		<input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
<input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす			
4. 環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量:1945.55t-CO2/年
	生活環境の改善・保全	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道／平行区間等）：一般国道168号 排出削減量：7.47t/年、排出削減率：9割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてNOx排出増加量：2.48t/年
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道／平行区間等）：一般国道168号 排出削減量：0.43t/年、排出削減率：9割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてSPM排出増加量：0.13t/年
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のポイントとの関係	<input checked="" type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	「奈良県道路整備基本計画」「奈良県南部・東部振興基本計画」「奈良県南部・東部振興基本計画令和4年度アクション・プラン」「第2気奈良県国土強靱化地域計画」「五條市都市計画マスタープラン」「第2期十津川村こころ豊かなむら・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づけられている。
		<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

(再評価)

様式-2

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・ その他の別
一般国道168号	十津川道路 (Ⅱ期)	L=5.6km	地域高規格	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
3,300	2車線	近畿地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	更新費	合計
基準年	令和5年度			
単純合計	370億円	72億円		442億円
うち残事業分	364億円	72億円		436億円
基準年における 現在価値 (C)	317億円	24億円		341億円
うち残事業分	310億円	24億円		335億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和5年度			
供用年	令和12年度			
単年便益 (初年便益)	24億円	1.4億円	0.09億円	26億円
基準年における 現在価値 (B)	376億円	22億円	1.4億円	400億円
うち残事業分	376億円	22億円	1.4億円	400億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.2
経済的純現在価値（事業全体）	59億円
経済的内部収益率（事業全体）	5.0%
費用便益比（残事業）	1.2
経済的純現在価値（残事業）	65億円
経済的内部収益率（残事業）	5.1%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	3,300台/日	±10%	1.1~1.3
事業費	370億円	±10%	1.1~1.3
事業期間	10年	±20%	1.1~1.2

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	3,300台/日	±10%	1.1~1.3
事業費	364億円	±10%	1.1~1.3
事業期間	6年	±20%	1.2~1.2

交通状況の変化

様式-3①

事業名：十津川道路（Ⅱ期）（事業全体）

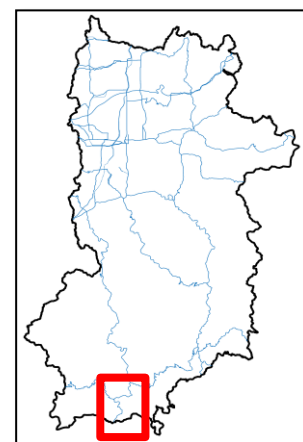
（推計時点 令和22年）

			整備なし (A)	整備あり (B)
①新設・改築道路 【未供用区間】 (5.6km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	0	3,300
	走行時間 ^{※2}	[分]	0	6
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	0.00	4.74
②主な周辺道路 ^{※4} 一般国道 168号 (10.1km)	交通量	[台/日]	3,600	700
	走行時間	[分]	38	21
	走行時間費用	[億円/年]	31.30	3.14
③その他道路合計 (2,595.1km)	走行時間費用	[億円/年]	6,727.88	6,727.88

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：2,610.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	6,759.18	6,735.76	23.42

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



交通状況の変化

様式-3①

事業名：十津川道路（Ⅱ期）（残事業）

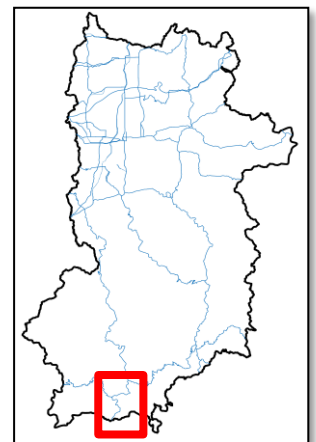
（推計時点 令和22年）

			整備なし (A)	整備あり (B)
①新設・改築道路 【未供用区間】 (5.6km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	0	3,300
	走行時間 ^{※2}	[分]	0	6
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	0.00	4.74
②主な周辺道路 ^{※4} 一般国道 168号 (10.1km)	交通量	[台/日]	3,600	700
	走行時間	[分]	38	21
	走行時間費用	[億円/年]	31.30	3.14
③その他道路合計 (2,595.1km)	走行時間費用	[億円/年]	6,727.88	6,727.88

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：2,610.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	6,759.18	6,735.76	23.42

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：十津川道路(Ⅱ期)

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (令和4年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	令和5年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (令和22年)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H27全国道路・街路 交通情勢調査)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
その他()			
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
その他()		<input type="checkbox"/>	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。		
その他()		<input type="checkbox"/>	

交通流推計

(3)

項目		チェック欄	
休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
		対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %	
災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
		とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他 ()	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
	算出婚子を添付すること		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
	算出婚子を添付すること		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>	
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>	
その他			

便益の算定

費用の現在価値算定表(事業全体)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道168号 十津川道路(Ⅱ期)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.28	5.6	1.58

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-10年目	R 2	1.1249	101.9	1.86	2.09				
-9年目	R 3	1.0816	101.8	1.82	1.97				
-8年目	R 4	1.0400	101.8	1.79	1.87				
-7年目	R 5	1.0000	101.8	0.55	0.55				
-6年目	R 6	0.9615	101.8	0.46	0.45				
-5年目	R 7	0.9246	101.8	40.01	37.00				
-4年目	R 8	0.8890	101.8	93.64	83.24				
-3年目	R 9	0.8548	101.8	89.09	76.15				
-2年目	R 10	0.8219	101.8	76.36	62.76				
-1年目	R 11	0.7903	101.8	64.16	50.71				
供用開始年次	R 12	0.7599	101.8			1.44	1.09		
1年目	R 13	0.7307	101.8			1.44	1.05		
2年目	R 14	0.7026	101.8			1.44	1.01		
3年目	R 15	0.6756	101.8			1.44	0.97		
4年目	R 16	0.6496	101.8			1.44	0.93		
5年目	R 17	0.6246	101.8			1.44	0.90		
6年目	R 18	0.6006	101.8			1.44	0.86		
7年目	R 19	0.5775	101.8			1.44	0.83		
8年目	R 20	0.5553	101.8			1.44	0.80		
9年目	R 21	0.5339	101.8			1.44	0.77		
10年目	R 22	0.5134	101.8			1.44	0.74		
11年目	R 23	0.4936	101.8			1.44	0.71		
12年目	R 24	0.4746	101.8			1.44	0.68		
13年目	R 25	0.4564	101.8			1.44	0.66		
14年目	R 26	0.4388	101.8			1.44	0.63		
15年目	R 27	0.4220	101.8			1.44	0.61		
16年目	R 28	0.4057	101.8			1.44	0.58		
17年目	R 29	0.3901	101.8			1.44	0.56		
18年目	R 30	0.3751	101.8			1.44	0.54		
19年目	R 31	0.3607	101.8			1.44	0.52		
20年目	R 32	0.3468	101.8			1.44	0.50		
21年目	R 33	0.3335	101.8			1.44	0.48		
22年目	R 34	0.3207	101.8			1.44	0.46		
23年目	R 35	0.3083	101.8			1.44	0.44		
24年目	R 36	0.2965	101.8			1.44	0.43		
25年目	R 37	0.2851	101.8			1.44	0.41		
26年目	R 38	0.2741	101.8			1.44	0.39		
27年目	R 39	0.2636	101.8			1.44	0.38		
28年目	R 40	0.2534	101.8			1.44	0.36		
29年目	R 41	0.2437	101.8			1.44	0.35		
30年目	R 42	0.2343	101.8			1.44	0.34		
31年目	R 43	0.2253	101.8			1.44	0.32		
32年目	R 44	0.2166	101.8			1.44	0.31		
33年目	R 45	0.2083	101.8			1.44	0.30		
34年目	R 46	0.2003	101.8			1.44	0.29		
35年目	R 47	0.1926	101.8			1.44	0.28		
36年目	R 48	0.1852	101.8			1.44	0.27		
37年目	R 49	0.1780	101.8			1.44	0.26		
38年目	R 50	0.1712	101.8			1.44	0.25		
39年目	R 51	0.1646	101.8			1.44	0.24		
40年目	R 52	0.1583	101.8			1.44	0.23		
41年目	R 53	0.1522	101.8			1.44	0.22		
42年目	R 54	0.1463	101.8			1.44	0.21		
43年目	R 55	0.1407	101.8			1.44	0.20		
44年目	R 56	0.1353	101.8			1.44	0.19		
45年目	R 57	0.1301	101.8			1.44	0.19		
46年目	R 58	0.1251	101.8			1.44	0.18		
47年目	R 59	0.1203	101.8			1.44	0.17		
48年目	R 60	0.1157	101.8			1.44	0.17		
49年目	R 61	0.1112	101.8	-0.29	-0.03	1.44	0.16		
合計				369.46	316.76	71.82	24.42		
単純事業費計				369.75		71.82			

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道168号 十津川道路(Ⅱ期)

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.28	5.6	1.58

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-6年目	R 6	0.9615	101.8	0.46	0.45				
-5年目	R 7	0.9246	101.8	40.01	37.00				
-4年目	R 8	0.8890	101.8	93.64	83.24				
-3年目	R 9	0.8548	101.8	89.09	76.15				
-2年目	R 10	0.8219	101.8	76.36	62.76				
-1年目	R 11	0.7903	101.8	64.16	50.71				
供用開始年次	R 12	0.7599	101.8			1.44	1.09		
1年目	R 13	0.7307	101.8			1.44	1.05		
2年目	R 14	0.7026	101.8			1.44	1.01		
3年目	R 15	0.6756	101.8			1.44	0.97		
4年目	R 16	0.6496	101.8			1.44	0.93		
5年目	R 17	0.6246	101.8			1.44	0.90		
6年目	R 18	0.6006	101.8			1.44	0.86		
7年目	R 19	0.5775	101.8			1.44	0.83		
8年目	R 20	0.5553	101.8			1.44	0.80		
9年目	R 21	0.5339	101.8			1.44	0.77		
10年目	R 22	0.5134	101.8			1.44	0.74		
11年目	R 23	0.4936	101.8			1.44	0.71		
12年目	R 24	0.4746	101.8			1.44	0.68		
13年目	R 25	0.4564	101.8			1.44	0.66		
14年目	R 26	0.4388	101.8			1.44	0.63		
15年目	R 27	0.4220	101.8			1.44	0.61		
16年目	R 28	0.4057	101.8			1.44	0.58		
17年目	R 29	0.3901	101.8			1.44	0.56		
18年目	R 30	0.3751	101.8			1.44	0.54		
19年目	R 31	0.3607	101.8			1.44	0.52		
20年目	R 32	0.3468	101.8			1.44	0.50		
21年目	R 33	0.3335	101.8			1.44	0.48		
22年目	R 34	0.3207	101.8			1.44	0.46		
23年目	R 35	0.3083	101.8			1.44	0.44		
24年目	R 36	0.2965	101.8			1.44	0.43		
25年目	R 37	0.2851	101.8			1.44	0.41		
26年目	R 38	0.2741	101.8			1.44	0.39		
27年目	R 39	0.2636	101.8			1.44	0.38		
28年目	R 40	0.2534	101.8			1.44	0.36		
29年目	R 41	0.2437	101.8			1.44	0.35		
30年目	R 42	0.2343	101.8			1.44	0.34		
31年目	R 43	0.2253	101.8			1.44	0.32		
32年目	R 44	0.2166	101.8			1.44	0.31		
33年目	R 45	0.2083	101.8			1.44	0.30		
34年目	R 46	0.2003	101.8			1.44	0.29		
35年目	R 47	0.1926	101.8			1.44	0.28		
36年目	R 48	0.1852	101.8			1.44	0.27		
37年目	R 49	0.1780	101.8			1.44	0.26		
38年目	R 50	0.1712	101.8			1.44	0.25		
39年目	R 51	0.1646	101.8			1.44	0.24		
40年目	R 52	0.1583	101.8			1.44	0.23		
41年目	R 53	0.1522	101.8			1.44	0.22		
42年目	R 54	0.1463	101.8			1.44	0.21		
43年目	R 55	0.1407	101.8			1.44	0.20		
44年目	R 56	0.1353	101.8			1.44	0.19		
45年目	R 57	0.1301	101.8			1.44	0.19		
46年目	R 58	0.1251	101.8			1.44	0.18		
47年目	R 59	0.1203	101.8			1.44	0.17		
48年目	R 60	0.1157	101.8			1.44	0.17		
49年目	R 61	0.1112	101.8	-0.24	-0.03	1.44	0.16		
合計				363.49	310.28	71.82	24.42		
単純事業費計					363.73		71.82		

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表（事業全体）

箇所名： 一般国道168号 十津川道路（Ⅱ期）

Table with columns for year (年次), annual expansion rate (総走行台キロの年次別伸び率), discount rate (割引率), GDP deflator (GDPデフレーター), walking time reduction benefits (走行時間短縮便益), walking cost reduction benefits (走行経費減少便益), accident reduction benefits (事故減少便益), and total benefits (合計).

(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道168号	十津川道路(Ⅱ期)	2	5.6km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					34,978	
改良費					2,748	
	土工	式		1	1,092	切土、盛土、残土処分
	法面工	m ²		6,119	117	切土法面、盛土法面
	擁壁工	式		1	121	ブロック積擁壁、補強土壁
	函渠工	m		14	29	
	排水工	式		1	20	
	斜面对策工	式		1	1,186	
	雑工	式		1	183	工事用道路等
橋梁費					14,892	
	橋梁	m		843	14,892	
トンネル費					16,370	
	NATM	m		4,600	16,370	
IC・JCT費						
	IC	箇所				
	JCT	箇所				
舗装費					956	
	車道舗装	m ²		21,594	956	橋梁部、トンネル部含む
	歩道舗装	m ²				
付帯施設費					12	
	区画線工	m		2,128	12	
②用地及補償費					129	
用地費			m ²	27,695	29	
	宅地	m ²		93	1	
	田畑	m ²				
	山林・原野	m ²		27,602	28	
	その他	m ²				
補償費			式	1	100	
③間接経費					5,563	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					40,670	

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道168号	十津川道路(Ⅱ期)	2	5.6km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					34,978	
改良費					2,748	
	土工	式		1	1,092	切土、盛土、残土処分
	法面工	m ²		6,119	117	切土法面、盛土法面
	擁壁工	式		1	121	ブロック積擁壁、補強土壁
	函渠工	m		14	29	
	排水工	式		1	20	
	斜面对策工	式		1	1,186	
	雑工	式		1	183	工事用道路等
橋梁費					14,892	
	橋梁	m		843	14,892	
トンネル費					16,370	
	NATM	m		4,600	16,370	
IC・JCT費						
	IC	箇所				
	JCT	箇所				
舗装費					956	
	車道舗装	m ²		21,594	956	
	歩道舗装	m ²				
付帯施設費					12	
	区画線工	m		2,128	12	
②用地及補償費					124	
用地費			m ²	16,428	24	
	宅地	m ²		93	1	
	田畑	m ²				
	山林・原野	m ²		16,335	23	
	その他	m ²				
補償費			式	1	100	
③間接経費					4,906	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					40,008	

全事業 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道168号	十津川道路(Ⅱ期)	2	5.6km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	5.6	2,050	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	5,850	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			7,900	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

(再評価)

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	五條新宮道路 (一般国道168号 五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区))
事業主体	近畿地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 便益が費用を上回っている	(一体評価) 全事業：費用便益比(B/C)=1.3(経済的純現在価値(B-C)=1013億円、経済的内部収益率(EIRR)=5.3%) 残事業：費用便益比(B/C)=1.1(経済的純現在価値(B-C)=108億円、経済的内部収益率(EIRR)=4.6%) (五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)) 全事業：費用便益比(B/C)=0.9(経済的純現在価値(B-C)=-39億円、経済的内部収益率(EIRR)=3.2%) 残事業：費用便益比(B/C)=0.9(経済的純現在価値(B-C)=-17億円、経済的内部収益率(EIRR)=3.6%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a(費用便益分析対象区間)について 渋滞損失時間(現況):13145万人・時間/年 渋滞損失削減時間:15万人・時間/年(13145万人・時間/年⇒13130万人・時間/年) 区間b(当該区間/並行区間)について:一般国道168号 並行区間等(当該区間)の渋滞損失時間:16万人・時間/年 並行区間等(当該区間)の渋滞損失削減率:10割削減
		<input type="checkbox"/> 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		<input type="checkbox"/> 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	奈良交通、十津川村営バス
		<input checked="" type="checkbox"/> 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	十津川村～大和八木駅(所要時間:123分→109分)
		<input type="checkbox"/> 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
	物流効率化の支援	<input type="checkbox"/> 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	
		<input checked="" type="checkbox"/> 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上が見込まれる	スギ、ヒノキ
		<input type="checkbox"/> 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	

1. 活力	都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である			
		<input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する			
		<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり			
		<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である			
		<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である			
		<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する			
		<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる			
	国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り			
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	五條新宮道路		
		<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する			
		<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	新宮市～五條市(所要時間:約161分→約145分)		
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する			
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	国道168号(十津川村大字野尻～川津、十津川村大字上野地～宇宮原)		
	個性ある地域の形成	<input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	十津川村～五條市(所要時間:約84分→約69分)		
		<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する			
		<input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	観光地域づくり実践プラン 「紀伊山地の霊場と参詣道」吉野・熊野・高野“ぐるっと”プロジェクト		
		<input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	十津川温泉郷(年間観光客入込客数:173千人/年 R4年)		
		<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である			
		2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
				<input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される。	
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り			
<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する					
	安全で安心できる暮らしの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	十津川村～奈良県立医科大学附属病院(所要時間:約123分→約109分)		

3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	奈良県地域防災計画（第1次緊急輸送道路）
		<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	国道42号（和歌山市～新宮市）
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	防災点検要対策箇所数＝10箇所（国道168号 十津川村大字野尻～宇宮原間）
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	異常気象時通行規制区間 国道168号 十津川村小原～五條市大塔町字井（31.5km）（十津川村大字野尻～宇宮原間解消）
		<input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
<input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する			
<input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす			
4. 環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：2497.04t-CO2/年
	生活環境の改善・保全	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道／平行区間等）：一般国道168号 排出削減量：9.02t/年、排出削減率：10割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてNOx排出増加量：3.34t/年
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道／平行区間等）：一般国道168号 排出削減量：0.52t/年、排出削減率：10割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてSPM排出増加量：0.18t/年
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input checked="" type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	「奈良県道路整備基本計画」「奈良県南部・東部振興基本計画」「奈良県南部・東部振興基本計画令和4年度アクション・プラン」「第2気奈良県国土強靱化地域計画」「五條市都市計画マスタープラン」「第2期十津川村こころ豊かなむら・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づけられている。
		<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

(再評価)

様式-2

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道168号	五條新宮道路 (風屋川津・宇宮原工区)	L=6.9km	地域高規格	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
宇宮原 : 2,500 風屋川津 : 3,800	2車線	近畿地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	更新費	合計
基準年	令和5年度			
単純合計	302億円	88億円		390億円
うち残事業分	282億円	88億円		371億円
基準年における 現在価値 (C)	266億円	30億円		296億円
うち残事業分	244億円	30億円		273億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和5年度			
供用年	令和12年度			
単年便益 (初年便益)	15億円	1.4億円	0.13億円	16億円
基準年における 現在価値 (B)	233億円	22億円	2.0億円	257億円
うち残事業分	233億円	22億円	2.0億円	257億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	0.9
経済的純現在価値（事業全体）	-39億円
経済的内部収益率（事業全体）	3.2%
費用便益比（残事業）	0.9
経済的純現在価値（残事業）	-17億円
経済的内部収益率（残事業）	3.6%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	風屋川津：3,800	±10%	0.8~0.95
事業費	302億円	±10%	0.8~0.9
事業期間	17年	±20%	0.8~0.9

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	風屋川津：3,800	±10%	0.8~1.03
事業費	282億円	±10%	0.9~1.03
事業期間	6年	±20%	0.9~0.97

交通状況の変化

様式-3①

事業名：五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区) (事業全体)

(推計時点 令和22年)

			整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路 宇宮原工区 (1.2km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	0	2,500
	走行時間 ^{※2}	[分]	0	1
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	0.00	0.63
②新設・改築道路 風屋川津工区 (5.7km)	交通量	[台/日]	0	3,800
	走行時間	[分]	0	6
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	4.74
②主な周辺道路 ^{※4} 一般国道 168号 (10.5km)	交通量	[台/日]	3,600	0
	走行時間	[分]	25	0
	走行時間費用	[億円/年]	18.69	0.00
③その他道路合計 (2,593.4km)	走行時間費用	[億円/年]	6,731.51	6,730.40

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：2,610.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	6,750.20	6,735.76	14.44

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

様式-3①

事業名：五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区) (残事業)

(推計時点 令和22年)

			整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路 宇宮原工区 (1.2km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	0	2,500
	走行時間 ^{※2}	[分]	0	1
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	0.00	0.63
②新設・改築道路 風屋川津工区 (5.7km)	交通量	[台/日]	0	3,800
	走行時間	[分]	0	6
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	4.74
②主な周辺道路 ^{※4} 一般国道 168号 (10.5km)	交通量	[台/日]	3,600	0
	走行時間	[分]	25	0
	走行時間費用	[億円/年]	18.69	0.00
③その他道路合計 (2,593.4km)	走行時間費用	[億円/年]	6,731.51	6,730.40

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：2,610.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	6,750.20	6,735.76	14.44

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (令和4年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	令和5年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (令和22年)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H27全国道路・街路 交通情勢調査)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
その他()			
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
その他()		<input type="checkbox"/>	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>	
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。		
	その他()	<input type="checkbox"/>	

交通流推計

(3)

項目		チェック欄		
便 益 の 算 定	休日交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		() %	
	災害等による 通行止めの 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する 場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の 時点以外の 便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間 価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
	算出婚子を添付すること			
車種別走行 経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
	算出婚子を添付すること			
交通事故減少 便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走 行経費減少・交通 事故減少以外の便 益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

費用の現在価値算定表(事業全体)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 一般国道168号 五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.28	6.9	1.94

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-17年目	H 25	1.4802	96.4	0.48	0.74				
-16年目	H 26	1.4233	98.7	0.46	0.68				
-15年目	H 27	1.3686	100.2	0.50	0.70				
-14年目	H 28	1.3159	100.2	0.93	1.24				
-13年目	H 29	1.2653	100.5	0.93	1.19				
-12年目	H 30	1.2167	100.4	1.85	2.28				
-11年目	R 1	1.1699	101.2	2.73	3.21				
-10年目	R 2	1.1249	101.9	2.95	3.31				
-9年目	R 3	1.0816	101.8	2.58	2.79				
-8年目	R 4	1.0400	101.8	2.99	3.11				
-7年目	R 5	1.0000	101.8	2.92	2.92				
-6年目	R 6	0.9615	101.8	1.28	1.23				
-5年目	R 7	0.9246	101.8	43.64	40.35				
-4年目	R 8	0.8890	101.8	68.18	60.61				
-3年目	R 9	0.8548	101.8	83.64	71.49				
-2年目	R 10	0.8219	101.8	70.45	57.91				
-1年目	R 11	0.7903	101.8	15.14	11.96				
供用開始年次	R 12	0.7599	101.8			1.76	1.34		
1年目	R 13	0.7307	101.8			1.76	1.29		
2年目	R 14	0.7026	101.8			1.76	1.24		
3年目	R 15	0.6756	101.8			1.76	1.19		
4年目	R 16	0.6496	101.8			1.76	1.15		
5年目	R 17	0.6246	101.8			1.76	1.10		
6年目	R 18	0.6006	101.8			1.76	1.06		
7年目	R 19	0.5775	101.8			1.76	1.02		
8年目	R 20	0.5553	101.8			1.76	0.98		
9年目	R 21	0.5339	101.8			1.76	0.94		
10年目	R 22	0.5134	101.8			1.76	0.91		
11年目	R 23	0.4936	101.8			1.76	0.87		
12年目	R 24	0.4746	101.8			1.76	0.84		
13年目	R 25	0.4564	101.8			1.76	0.80		
14年目	R 26	0.4388	101.8			1.76	0.77		
15年目	R 27	0.4220	101.8			1.76	0.74		
16年目	R 28	0.4057	101.8			1.76	0.72		
17年目	R 29	0.3901	101.8			1.76	0.69		
18年目	R 30	0.3751	101.8			1.76	0.66		
19年目	R 31	0.3607	101.8			1.76	0.64		
20年目	R 32	0.3468	101.8			1.76	0.61		
21年目	R 33	0.3335	101.8			1.76	0.59		
22年目	R 34	0.3207	101.8			1.76	0.57		
23年目	R 35	0.3083	101.8			1.76	0.54		
24年目	R 36	0.2965	101.8			1.76	0.52		
25年目	R 37	0.2851	101.8			1.76	0.50		
26年目	R 38	0.2741	101.8			1.76	0.48		
27年目	R 39	0.2636	101.8			1.76	0.46		
28年目	R 40	0.2534	101.8			1.76	0.45		
29年目	R 41	0.2437	101.8			1.76	0.43		
30年目	R 42	0.2343	101.8			1.76	0.41		
31年目	R 43	0.2253	101.8			1.76	0.40		
32年目	R 44	0.2166	101.8			1.76	0.38		
33年目	R 45	0.2083	101.8			1.76	0.37		
34年目	R 46	0.2003	101.8			1.76	0.35		
35年目	R 47	0.1926	101.8			1.76	0.34		
36年目	R 48	0.1852	101.8			1.76	0.33		
37年目	R 49	0.1780	101.8			1.76	0.31		
38年目	R 50	0.1712	101.8			1.76	0.30		
39年目	R 51	0.1646	101.8			1.76	0.29		
40年目	R 52	0.1583	101.8			1.76	0.28		
41年目	R 53	0.1522	101.8			1.76	0.27		
42年目	R 54	0.1463	101.8			1.76	0.26		
43年目	R 55	0.1407	101.8			1.76	0.25		
44年目	R 56	0.1353	101.8			1.76	0.24		
45年目	R 57	0.1301	101.8			1.76	0.23		
46年目	R 58	0.1251	101.8			1.76	0.22		
47年目	R 59	0.1203	101.8			1.76	0.21		
48年目	R 60	0.1157	101.8			1.76	0.20		
49年目	R 61	0.1112	101.8	-0.79	-0.09	1.76	0.20		
合計				300.84	265.63	88.18	29.94		
単純事業費計					301.63		88.18		

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道168号 五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)

単価(億円)	延長(km)	単純価値(億円)
0.28	6.9	1.94

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-6年目	R 6	0.9615	101.8	1.28	1.23				
-5年目	R 7	0.9246	101.8	43.64	40.35				
-4年目	R 8	0.8890	101.8	68.18	60.61				
-3年目	R 9	0.8548	101.8	83.64	71.49				
-2年目	R 10	0.8219	101.8	70.45	57.91				
-1年目	R 11	0.7903	101.8	15.14	11.96				
供用開始年次	R 12	0.7599	101.8			1.76	1.34		
1年目	R 13	0.7307	101.8			1.76	1.29		
2年目	R 14	0.7026	101.8			1.76	1.24		
3年目	R 15	0.6756	101.8			1.76	1.19		
4年目	R 16	0.6496	101.8			1.76	1.15		
5年目	R 17	0.6246	101.8			1.76	1.10		
6年目	R 18	0.6006	101.8			1.76	1.06		
7年目	R 19	0.5775	101.8			1.76	1.02		
8年目	R 20	0.5553	101.8			1.76	0.98		
9年目	R 21	0.5339	101.8			1.76	0.94		
10年目	R 22	0.5134	101.8			1.76	0.91		
11年目	R 23	0.4936	101.8			1.76	0.87		
12年目	R 24	0.4746	101.8			1.76	0.84		
13年目	R 25	0.4564	101.8			1.76	0.80		
14年目	R 26	0.4388	101.8			1.76	0.77		
15年目	R 27	0.4220	101.8			1.76	0.74		
16年目	R 28	0.4057	101.8			1.76	0.72		
17年目	R 29	0.3901	101.8			1.76	0.69		
18年目	R 30	0.3751	101.8			1.76	0.66		
19年目	R 31	0.3607	101.8			1.76	0.64		
20年目	R 32	0.3468	101.8			1.76	0.61		
21年目	R 33	0.3335	101.8			1.76	0.59		
22年目	R 34	0.3207	101.8			1.76	0.57		
23年目	R 35	0.3083	101.8			1.76	0.54		
24年目	R 36	0.2965	101.8			1.76	0.52		
25年目	R 37	0.2851	101.8			1.76	0.50		
26年目	R 38	0.2741	101.8			1.76	0.48		
27年目	R 39	0.2636	101.8			1.76	0.46		
28年目	R 40	0.2534	101.8			1.76	0.45		
29年目	R 41	0.2437	101.8			1.76	0.43		
30年目	R 42	0.2343	101.8			1.76	0.41		
31年目	R 43	0.2253	101.8			1.76	0.40		
32年目	R 44	0.2166	101.8			1.76	0.38		
33年目	R 45	0.2083	101.8			1.76	0.37		
34年目	R 46	0.2003	101.8			1.76	0.35		
35年目	R 47	0.1926	101.8			1.76	0.34		
36年目	R 48	0.1852	101.8			1.76	0.33		
37年目	R 49	0.1780	101.8			1.76	0.31		
38年目	R 50	0.1712	101.8			1.76	0.30		
39年目	R 51	0.1646	101.8			1.76	0.29		
40年目	R 52	0.1583	101.8			1.76	0.28		
41年目	R 53	0.1522	101.8			1.76	0.27		
42年目	R 54	0.1463	101.8			1.76	0.26		
43年目	R 55	0.1407	101.8			1.76	0.25		
44年目	R 56	0.1353	101.8			1.76	0.24		
45年目	R 57	0.1301	101.8			1.76	0.23		
46年目	R 58	0.1251	101.8			1.76	0.22		
47年目	R 59	0.1203	101.8			1.76	0.21		
48年目	R 60	0.1157	101.8			1.76	0.20		
49年目	R 61	0.1112	101.8	-0.17	-0.02	1.76	0.20		
合計				282.15	243.53	88.18	29.94		
単純事業費計					282.32		88.18		

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道168号	五條新宮道路 (風屋川津・宇宮原工区)	2	6.9km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				29,666	
	改良費				1,263	
		土工	m3	6,354	24	
		法面工	式	1	1,044	
		擁壁工	式	1	130	
		排水工	式	1	65	
	橋梁費				8,110	
		橋梁	m	1,737	8,110	
	トンネル費				18,031	
		NATM	m	5,364	18,031	
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				2,246	
		車道舗装	m ²	54,242	2,246	橋梁部、トンネル部含む
		歩道舗装	m ²			
	付帯施設費				16	
		交通管理施設工	式	1	16	
②	用地及補償費				79	
	用地費		m ²	34,543	79	
		宅地	m ²	4,183	67	
		田畑	m ²			
		山林・原野	m ²	30,360	12	
		その他	m ²			
	補償費		式			
③	間接経費		式	1	3,415	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				33,160	

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道168号	五條新宮道路 (風屋川津・宇宮原工区)	2	6.9km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				28,780	
	改良費				1,263	
		土工	m3	6,534	24	
		法面工	式	1	1,044	
		擁壁工	式	1	130	
		排水工	式	1	65	
	橋梁費				7,224	
		橋梁	m	1,737	7,224	
	トンネル費				18,031	
		NATM	m	5,364	18,031	
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				2,246	
		車道舗装	m ²	54,242	2,246	
		歩道舗装	m ²			
	付帯施設費				16	
		交通管理施設工	式	1	16	
②	用地及補償費				17	
	用地費		m ²	26,464	17	
		宅地	m ²	1,189	8	
		田畑	m ²			
		山林・原野	m ²	25,275	9	
		その他	m ²			
	補償費		式			
③	間接経費		式	1	2,257	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				31,054	

全事業 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道168号	五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)	2	6.9km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	6.9	2,500	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	7,200	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			9,700	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

(再評価)

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	五條新宮道路 (一般国道168号 長殿道路)
事業主体	近畿地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 便益が費用を上回っている	(一体評価) 全事業：費用便益比(B/C)=1.3(経済的純現在価値(B-C)=1013億円、経済的内部収益率(EIRR)=5.3%) 残事業：費用便益比(B/C)=1.1(経済的純現在価値(B-C)=108億円、経済的内部収益率(EIRR)=4.6%) (長殿道路) 全事業：費用便益比(B/C)=0.8(経済的純現在価値(B-C)=-44億円、経済的内部収益率(EIRR)=2.6%) 残事業：費用便益比(B/C)=1.3(経済的純現在価値(B-C)=30億円、経済的内部収益率(EIRR)=5.7%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a(費用便益分析対象区間)について 渋滞損失時間(現況):13148万人・時間/年 渋滞損失削減時間:18万人・時間/年(13148万人・時間/年⇒13130万人・時間/年) 区間b(当該区間/並行区間)について:一般国道42号 並行区間等(当該区間)の渋滞損失時間:19万人・時間/年 並行区間等(当該区間)の渋滞損失削減率:10割削減
		<input type="checkbox"/> 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		<input type="checkbox"/> 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	奈良交通、十津川村営バス
		<input checked="" type="checkbox"/> 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	十津川村～大和八木駅(所要時間:126分→119分)
		<input type="checkbox"/> 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
	物流効率化の支援	<input type="checkbox"/> 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	
		<input checked="" type="checkbox"/> 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上が見込まれる	スギ、ヒノキ
		<input type="checkbox"/> 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	

1. 活力	都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		<input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である	
		<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り	
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	五條新宮道路
		<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	新宮市～五條市(所要時間:約161分→約154分)
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	国道168号(十津川村大字長殿～長殿)
	個性ある地域の形成	<input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	十津川村～五條市(所要時間:約84分→約78分)
		<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	観光地域づくり実践プラン 「紀伊山地の霊場と参詣道」吉野・熊野・高野“ぐるっと”プロジェクト
		<input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	十津川温泉郷(年間観光客入込客数:173千人/年 R4年)
		<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
		<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される。	
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する			
安全で安心できるくらしの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	十津川村～奈良県立医科大学附属病院(所要時間:約126分→約119分)	

3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	奈良県地域防災計画（第1次緊急輸送道路）
		<input checked="" type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	国道42号（和歌山市～新宮市）
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	防災点検要対策箇所数=6箇所（国道168号 十津川村大字長殿～長殿間）
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	異常気象時通行規制区間 国道168号 十津川村小原～五條市大塔町字井（31.5km）（十津川村大字長殿～長殿間解消）
		<input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
<input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する			
<input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす			
4. 環境	地球環境の保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：818.86t-CO2/年
	生活環境の改善・保全	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道／平行区間等）：一般国道42号 排出削減量：2.94t/年、排出削減率：10割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてNOx排出増加量：0.98t/年
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道／平行区間等）：一般国道42号 排出削減量：0.21t/年、排出削減率：10割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてSPM排出増加量：0.05t/年
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input checked="" type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	「奈良県道路整備基本計画」「奈良県南部・東部振興基本計画」「奈良県南部・東部振興基本計画令和4年度アクション・プラン」「第2気奈良県国土強靱化地域計画」「五條市都市計画マスタープラン」「第2期十津川村こころ豊かなむら・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づけられている。
		<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

(再評価)

様式-2

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・ その他の別
一般国道168号	長殿道路	L=2.7km	地域高規格	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
2,500	2車線	近畿地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	更新費	合計
基準年	令和5年度			
単純合計	174億円	35億円		209億円
うち残事業分	109億円	35億円		144億円
基準年における 現在価値 (C)	171億円	12億円		183億円
うち残事業分	96億円	12億円		108億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	令和5年度			
供用年	令和11年度			
単年便益 (初年便益)	8.2億円	0.29億円	0.00億円	8.5億円
基準年における 現在価値 (B)	134億円	4.8億円	0.03億円	139億円
うち残事業分	134億円	4.8億円	0.03億円	139億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	0.8
経済的純現在価値（事業全体）	-44億円
経済的内部収益率（事業全体）	2.6%
費用便益比（残事業）	1.3
経済的純現在価値（残事業）	30億円
経済的内部収益率（残事業）	5.7%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	2,500台/日	±10%	0.7~0.8
事業費	174億円	±10%	0.7~0.8
事業期間	17年	±20%	0.7~0.8

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	2,500台/日	±10%	1.2~1.4
事業費	109億円	±10%	1.2~1.4
事業期間	5年	±20%	1.2~1.3

交通状況の変化

様式-3①

事業名：長殿道路（事業全体）

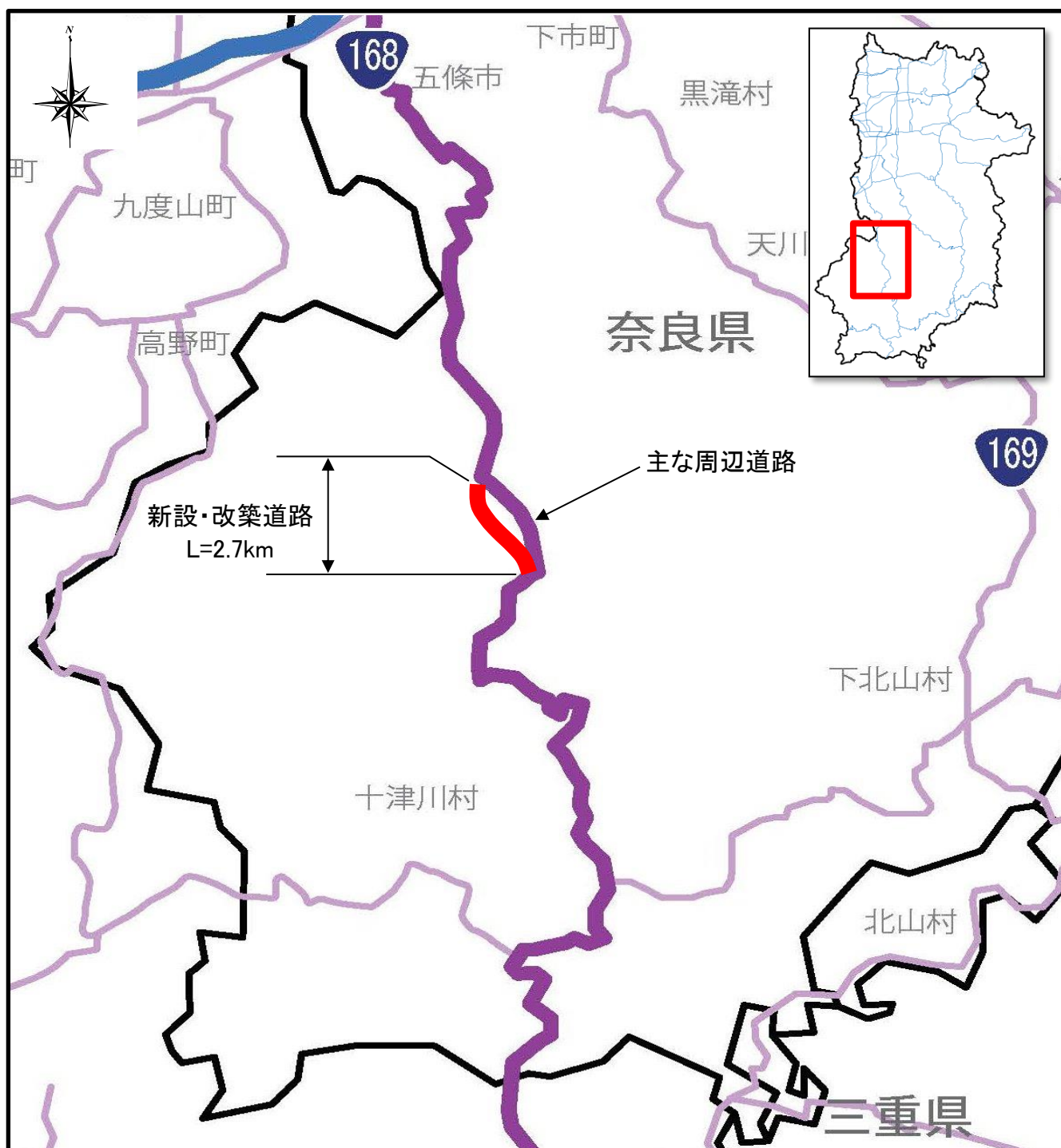
（推計時点 令和22年）

			整備なし (A)	整備あり (B)
①新設・改築道路 【未供用区間】 (2.7km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	0	2,500
	走行時間 ^{※2}	[分]	0	3
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	0.00	1.42
②主な周辺道路 ^{※4} 一般国道 168号 (2.8km)	交通量	[台/日]	2,500	0
	走行時間	[分]	19	0
	走行時間費用	[億円/年]	9.35	0.00
③その他道路合計 (2,605.3km)	走行時間費用	[億円/年]	6,734.35	6,734.35

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：2,610.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	6,743.69	6,735.76	7.93

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

様式-3①

事業名：長殿道路（残事業）

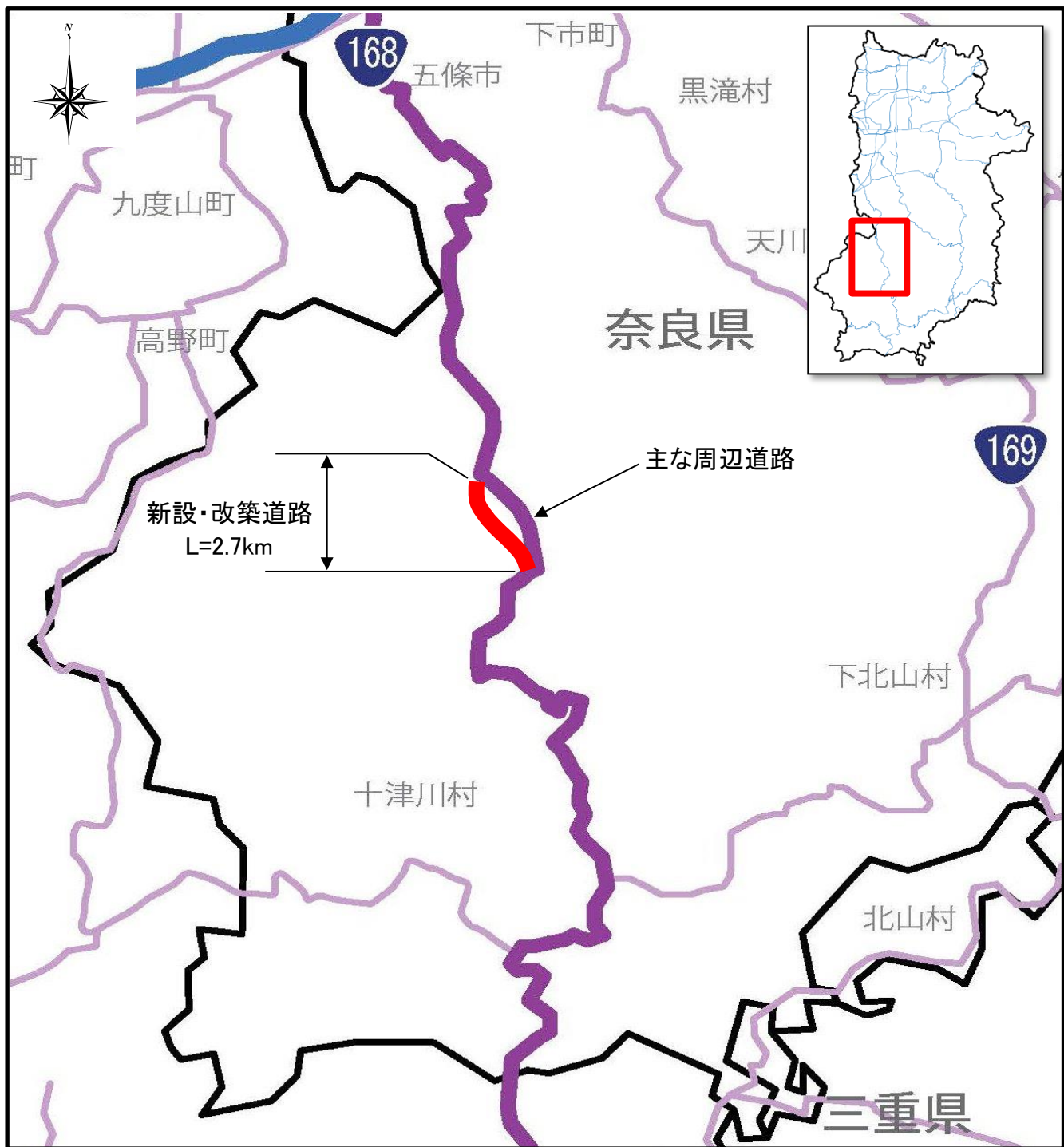
（推計時点 令和22年）

			整備なし (A)	整備あり (B)
①新設・改築道路 【未供用区間】 (2.7km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	0	2,500
	走行時間 ^{※2}	[分]	0	3
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	0.00	1.42
②主な周辺道路 ^{※4} 一般国道 168号 (2.8km)	交通量	[台/日]	2,500	0
	走行時間	[分]	19	0
	走行時間費用	[億円/年]	9.35	0.00
③その他道路合計 (2,605.3km)	走行時間費用	[億円/年]	6,734.35	6,734.35

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：2,610.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	6,743.69	6,735.76	7.93

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面 (①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：長殿道路

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (令和4年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	令和5年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (令和22年)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H27全国道路・街路 交通情勢調査)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
その他()			
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
その他()		<input type="checkbox"/>	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。		
その他()		<input type="checkbox"/>	

交通流推計

(3)

項目		チェック欄		
便 益 の 算 定	休日交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		() %	
	災害等による 通行止めの 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する 場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の 時点以外の 便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間 価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
	算出婚子を添付すること			
車種別走行 経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
	算出婚子を添付すること			
交通事故減少 便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走 行経費減少・交通 事故減少以外の便 益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

費用の現在価値算定表(事業全体)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 一般国道168号 長殿道路

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.29	2.7	0.77

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-17年目	H 24	1.5395	96.4	0.95	1.55				
-16年目	H 25	1.4802	96.4	1.33	2.08				
-15年目	H 26	1.4233	98.7	1.23	1.81				
-14年目	H 27	1.3686	100.2	0.60	0.84				
-13年目	H 28	1.3159	100.2	3.17	4.23				
-12年目	H 29	1.2653	100.5	6.02	7.71				
-11年目	H 30	1.2167	100.4	5.56	6.85				
-10年目	R 1	1.1699	101.2	9.09	10.70				
-9年目	R 2	1.1249	101.9	11.82	13.28				
-8年目	R 3	1.0816	101.8	9.28	10.04				
-7年目	R 4	1.0400	101.8	7.95	8.27				
-6年目	R 5	1.0000	101.8	7.46	7.46				
-5年目	R 6	0.9615	101.8	4.23	4.06				
-4年目	R 7	0.9246	101.8	20.00	18.49				
-3年目	R 8	0.8890	101.8	28.91	25.70				
-2年目	R 9	0.8548	101.8	39.09	33.41				
-1年目	R 10	0.8219	101.8	17.17	14.11				
供用開始年次	R 11	0.7903	101.8			0.70	0.55		
1年目	R 12	0.7599	101.8			0.70	0.53		
2年目	R 13	0.7307	101.8			0.70	0.51		
3年目	R 14	0.7026	101.8			0.70	0.49		
4年目	R 15	0.6756	101.8			0.70	0.47		
5年目	R 16	0.6496	101.8			0.70	0.45		
6年目	R 17	0.6246	101.8			0.70	0.44		
7年目	R 18	0.6006	101.8			0.70	0.42		
8年目	R 19	0.5775	101.8			0.70	0.40		
9年目	R 20	0.5553	101.8			0.70	0.39		
10年目	R 21	0.5339	101.8			0.70	0.37		
11年目	R 22	0.5134	101.8			0.70	0.36		
12年目	R 23	0.4936	101.8			0.70	0.35		
13年目	R 24	0.4746	101.8			0.70	0.33		
14年目	R 25	0.4564	101.8			0.70	0.32		
15年目	R 26	0.4388	101.8			0.70	0.31		
16年目	R 27	0.4220	101.8			0.70	0.30		
17年目	R 28	0.4057	101.8			0.70	0.28		
18年目	R 29	0.3901	101.8			0.70	0.27		
19年目	R 30	0.3751	101.8			0.70	0.26		
20年目	R 31	0.3607	101.8			0.70	0.25		
21年目	R 32	0.3468	101.8			0.70	0.24		
22年目	R 33	0.3335	101.8			0.70	0.23		
23年目	R 34	0.3207	101.8			0.70	0.22		
24年目	R 35	0.3083	101.8			0.70	0.22		
25年目	R 36	0.2965	101.8			0.70	0.21		
26年目	R 37	0.2851	101.8			0.70	0.20		
27年目	R 38	0.2741	101.8			0.70	0.19		
28年目	R 39	0.2636	101.8			0.70	0.18		
29年目	R 40	0.2534	101.8			0.70	0.18		
30年目	R 41	0.2437	101.8			0.70	0.17		
31年目	R 42	0.2343	101.8			0.70	0.16		
32年目	R 43	0.2253	101.8			0.70	0.16		
33年目	R 44	0.2166	101.8			0.70	0.15		
34年目	R 45	0.2083	101.8			0.70	0.15		
35年目	R 46	0.2003	101.8			0.70	0.14		
36年目	R 47	0.1926	101.8			0.70	0.13		
37年目	R 48	0.1852	101.8			0.70	0.13		
38年目	R 49	0.1780	101.8			0.70	0.12		
39年目	R 50	0.1712	101.8			0.70	0.12		
40年目	R 51	0.1646	101.8			0.70	0.12		
41年目	R 52	0.1583	101.8			0.70	0.11		
42年目	R 53	0.1522	101.8			0.70	0.11		
43年目	R 54	0.1463	101.8			0.70	0.10		
44年目	R 55	0.1407	101.8			0.70	0.10		
45年目	R 56	0.1353	101.8			0.70	0.09		
46年目	R 57	0.1301	101.8			0.70	0.09		
47年目	R 58	0.1251	101.8			0.70	0.09		
48年目	R 59	0.1203	101.8			0.70	0.08		
49年目	R 60	0.1157	101.8			0.70	0.08		
合計				173.79	170.58	35.00	12.32		
単純事業費計				173.87		35.00			

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道168号 長殿道路

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.29	2.7	0.77

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)		更新費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-5年目	R 6	0.9615	101.8	4.23	4.06				
-4年目	R 7	0.9246	101.8	20.00	18.49				
-3年目	R 8	0.8890	101.8	28.91	25.70				
-2年目	R 9	0.8548	101.8	39.09	33.41				
-1年目	R 10	0.8219	101.8	17.17	14.11				
供用開始年次	R 11	0.7903	101.8			0.70	0.55		
1年目	R 12	0.7599	101.8			0.70	0.53		
2年目	R 13	0.7307	101.8			0.70	0.51		
3年目	R 14	0.7026	101.8			0.70	0.49		
4年目	R 15	0.6756	101.8			0.70	0.47		
5年目	R 16	0.6496	101.8			0.70	0.45		
6年目	R 17	0.6246	101.8			0.70	0.44		
7年目	R 18	0.6006	101.8			0.70	0.42		
8年目	R 19	0.5775	101.8			0.70	0.40		
9年目	R 20	0.5553	101.8			0.70	0.39		
10年目	R 21	0.5339	101.8			0.70	0.37		
11年目	R 22	0.5134	101.8			0.70	0.36		
12年目	R 23	0.4936	101.8			0.70	0.35		
13年目	R 24	0.4746	101.8			0.70	0.33		
14年目	R 25	0.4564	101.8			0.70	0.32		
15年目	R 26	0.4388	101.8			0.70	0.31		
16年目	R 27	0.4220	101.8			0.70	0.30		
17年目	R 28	0.4057	101.8			0.70	0.28		
18年目	R 29	0.3901	101.8			0.70	0.27		
19年目	R 30	0.3751	101.8			0.70	0.26		
20年目	R 31	0.3607	101.8			0.70	0.25		
21年目	R 32	0.3468	101.8			0.70	0.24		
22年目	R 33	0.3335	101.8			0.70	0.23		
23年目	R 34	0.3207	101.8			0.70	0.22		
24年目	R 35	0.3083	101.8			0.70	0.22		
25年目	R 36	0.2965	101.8			0.70	0.21		
26年目	R 37	0.2851	101.8			0.70	0.20		
27年目	R 38	0.2741	101.8			0.70	0.19		
28年目	R 39	0.2636	101.8			0.70	0.18		
29年目	R 40	0.2534	101.8			0.70	0.18		
30年目	R 41	0.2437	101.8			0.70	0.17		
31年目	R 42	0.2343	101.8			0.70	0.16		
32年目	R 43	0.2253	101.8			0.70	0.16		
33年目	R 44	0.2166	101.8			0.70	0.15		
34年目	R 45	0.2083	101.8			0.70	0.15		
35年目	R 46	0.2003	101.8			0.70	0.14		
36年目	R 47	0.1926	101.8			0.70	0.13		
37年目	R 48	0.1852	101.8			0.70	0.13		
38年目	R 49	0.1780	101.8			0.70	0.12		
39年目	R 50	0.1712	101.8			0.70	0.12		
40年目	R 51	0.1646	101.8			0.70	0.12		
41年目	R 52	0.1583	101.8			0.70	0.11		
42年目	R 53	0.1522	101.8			0.70	0.11		
43年目	R 54	0.1463	101.8			0.70	0.10		
44年目	R 55	0.1407	101.8			0.70	0.10		
45年目	R 56	0.1353	101.8			0.70	0.09		
46年目	R 57	0.1301	101.8			0.70	0.09		
47年目	R 58	0.1251	101.8			0.70	0.09		
48年目	R 59	0.1203	101.8			0.70	0.08		
49年目	R 60	0.1157	101.8	-0.03	0.00	0.70	0.08		
合計				109.37	95.77	35.00	12.32		
単純事業費計					109.40		35.00		

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表（事業全体）

箇所名： 一般国道168号 長殿道路

年次	年度 (基準年) R 5	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿内陸ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間短縮便益 (億円)					走行経費減少便益 (億円)					事故減少便益 (億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	R 11	0.99872	0.98215	1.00553	0.99744	0.7903	101.8	5.36	1.35	1.50	8.21	6.49	0.18	0.02	0.08	0.29	0.23	0.00	0.00	8.50	6.72
1年目	R 12	0.99665	0.98951	1.00412	0.99664	0.7599	101.8	5.35	1.33	1.51	8.19	6.22	0.18	0.02	0.08	0.29	0.22	0.00	0.00	8.47	6.44
2年目	R 13	0.99664	0.98940	1.00410	0.99663	0.7307	101.8	5.33	1.31	1.52	8.16	5.96	0.18	0.02	0.09	0.29	0.21	0.00	0.00	8.45	6.17
3年目	R 14	0.99663	0.98928	1.00409	0.99662	0.7026	101.8	5.31	1.30	1.52	8.14	5.72	0.18	0.02	0.09	0.29	0.20	0.00	0.00	8.42	5.92
4年目	R 15	0.99661	0.98917	1.00407	0.99661	0.6756	101.8	5.30	1.28	1.53	8.11	5.48	0.18	0.02	0.09	0.28	0.19	0.00	0.00	8.40	5.67
5年目	R 16	0.99660	0.98905	1.00405	0.99659	0.6496	101.8	5.28	1.27	1.54	8.08	5.25	0.18	0.02	0.09	0.28	0.18	0.00	0.00	8.37	5.44
6年目	R 17	0.99659	0.98893	1.00404	0.99658	0.6246	101.8	5.26	1.26	1.54	8.06	5.03	0.18	0.02	0.09	0.28	0.18	0.00	0.00	8.34	5.21
7年目	R 18	0.99658	0.98880	1.00402	0.99657	0.6006	101.8	5.24	1.24	1.55	8.03	4.82	0.17	0.02	0.09	0.28	0.17	0.00	0.00	8.32	5.00
8年目	R 19	0.99657	0.98868	1.00401	0.99656	0.5775	101.8	5.22	1.23	1.56	8.01	4.62	0.17	0.02	0.09	0.28	0.16	0.00	0.00	8.29	4.79
9年目	R 20	0.99656	0.98855	1.00399	0.99655	0.5553	101.8	5.21	1.21	1.56	7.98	4.43	0.17	0.02	0.09	0.28	0.16	0.00	0.00	8.27	4.59
10年目	R 21	0.99654	0.98841	1.00397	0.99653	0.5339	101.8	5.19	1.20	1.57	7.96	4.25	0.17	0.02	0.09	0.28	0.15	0.00	0.00	8.24	4.40
11年目	R 22	0.99213	0.99233	0.99989	0.99333	0.5134	101.8	5.17	1.19	1.57	7.93	4.07	0.17	0.02	0.09	0.28	0.14	0.00	0.00	8.21	4.22
12年目	R 23	0.99207	0.99227	0.99989	0.99328	0.4936	101.8	5.13	1.18	1.57	7.88	3.89	0.17	0.02	0.09	0.28	0.14	0.00	0.00	8.16	4.03
13年目	R 24	0.99200	0.99221	0.99989	0.99324	0.4746	101.8	5.09	1.17	1.57	7.83	3.72	0.17	0.02	0.09	0.28	0.13	0.00	0.00	8.11	3.85
14年目	R 25	0.99194	0.99215	0.99989	0.99319	0.4564	101.8	5.05	1.16	1.57	7.78	3.55	0.17	0.02	0.09	0.28	0.13	0.00	0.00	8.06	3.68
15年目	R 26	0.99187	0.99209	0.99989	0.99314	0.4388	101.8	5.01	1.15	1.57	7.73	3.39	0.17	0.02	0.09	0.28	0.12	0.00	0.00	8.01	3.51
16年目	R 27	0.99181	0.99203	0.99989	0.99310	0.4220	101.8	4.97	1.14	1.57	7.68	3.24	0.17	0.02	0.09	0.27	0.12	0.00	0.00	7.96	3.36
17年目	R 28	0.99174	0.99196	0.99989	0.99305	0.4057	101.8	4.93	1.13	1.57	7.63	3.10	0.16	0.02	0.09	0.27	0.11	0.00	0.00	7.90	3.21
18年目	R 29	0.99167	0.99190	0.99989	0.99300	0.3901	101.8	4.89	1.12	1.57	7.58	2.96	0.16	0.02	0.09	0.27	0.11	0.00	0.00	7.85	3.06
19年目	R 30	0.99160	0.99183	0.99989	0.99295	0.3751	101.8	4.85	1.11	1.57	7.53	2.82	0.16	0.02	0.09	0.27	0.10	0.00	0.00	7.80	2.93
20年目	R 31	0.99153	0.99176	0.99989	0.99290	0.3607	101.8	4.80	1.10	1.57	7.48	2.70	0.16	0.02	0.09	0.27	0.10	0.00	0.00	7.75	2.80
21年目	R 32	0.99146	0.99169	0.99989	0.99285	0.3468	101.8	4.76	1.10	1.57	7.43	2.58	0.16	0.02	0.09	0.27	0.09	0.00	0.00	7.70	2.67
22年目	R 33	0.99138	0.99163	0.99989	0.99280	0.3335	101.8	4.72	1.09	1.57	7.38	2.46	0.16	0.02	0.09	0.26	0.09	0.00	0.00	7.65	2.55
23年目	R 34	0.99131	0.99155	0.99989	0.99275	0.3207	101.8	4.68	1.08	1.57	7.33	2.35	0.16	0.02	0.09	0.26	0.08	0.00	0.00	7.60	2.44
24年目	R 35	0.99123	0.99148	0.99989	0.99269	0.3083	101.8	4.64	1.07	1.57	7.28	2.24	0.15	0.02	0.09	0.26	0.08	0.00	0.00	7.54	2.33
25年目	R 36	0.99115	0.99141	0.99989	0.99264	0.2965	101.8	4.60	1.06	1.57	7.23	2.14	0.15	0.02	0.09	0.26	0.08	0.00	0.00	7.49	2.22
26年目	R 37	0.99107	0.99134	0.99989	0.99259	0.2851	101.8	4.56	1.05	1.57	7.18	2.05	0.15	0.02	0.09	0.26	0.07	0.00	0.00	7.44	2.12
27年目	R 38	0.99099	0.99126	0.99989	0.99253	0.2741	101.8	4.52	1.04	1.57	7.13	1.95	0.15	0.02	0.09	0.26	0.07	0.00	0.00	7.39	2.03
28年目	R 39	0.99091	0.99118	0.99989	0.99247	0.2636	101.8	4.48	1.03	1.57	7.08	1.87	0.15	0.02	0.09	0.26	0.07	0.00	0.00	7.34	1.93
29年目	R 40	0.99083	0.99110	0.99989	0.99242	0.2534	101.8	4.44	1.02	1.57	7.03	1.78	0.15	0.02	0.09	0.25	0.06	0.00	0.00	7.29	1.85
30年目	R 41	0.99074	0.99102	0.99989	0.99236	0.2437	101.8	4.40	1.01	1.57	6.98	1.70	0.15	0.02	0.09	0.25	0.06	0.00	0.00	7.24	1.76
31年目	R 42	0.99067	0.99095	0.99989	0.99230	0.2343	101.8	4.36	1.00	1.57	6.93	1.62	0.15	0.02	0.09	0.25	0.06	0.00	0.00	7.18	1.68
32年目	R 43	0.99059	0.99088	0.99989	0.99225	0.2253	101.8	4.32	1.00	1.57	6.88	1.55	0.14	0.02	0.09	0.25	0.06	0.00	0.00	7.13	1.61
33年目	R 44	0.99051	0.99080	0.99989	0.99220	0.2166	101.8	4.28	0.99	1.57	6.83	1.48	0.14	0.02	0.09	0.25	0.05	0.00	0.00	7.08	1.53
34年目	R 45	0.99043	0.99073	0.99989	0.99214	0.2083	101.8	4.23	0.98	1.57	6.78	1.41	0.14	0.02	0.09	0.25	0.05	0.00	0.00	7.03	1.46
35年目	R 46	0.99035	0.99065	0.99989	0.99209	0.2003	101.8	4.19	0.97	1.57	6.73	1.35	0.14	0.02	0.09	0.24	0.05	0.00	0.00	6.98	1.40
36年目	R 47	0.99027	0.99058	0.99989	0.99203	0.1926	101.8	4.15	0.96	1.57	6.68	1.29	0.14	0.02	0.09	0.24	0.05	0.00	0.00	6.93	1.33
37年目	R 48	0.99020	0.99051	0.99989	0.99198	0.1852	101.8	4.11	0.95	1.57	6.63	1.23	0.14	0.02	0.09	0.24	0.04	0.00	0.00	6.88	1.27
38年目	R 49	0.99012	0.99043	0.99989	0.99193	0.1780	101.8	4.07	0.94	1.57	6.58	1.17	0.14	0.02	0.09	0.24	0.04	0.00	0.00	6.83	1.21
39年目	R 50	0.99004	0.99036	0.99989	0.99187	0.1712	101.8	4.03	0.93	1.57	6.53	1.12	0.13	0.02	0.09	0.24	0.04	0.00	0.00	6.77	1.16
40年目	R 51	0.98996	0.99028	0.99989	0.99182	0.1646	101.8	3.99	0.92	1.57	6.48	1.07	0.13	0.02	0.09	0.24	0.04	0.00	0.00	6.72	1.11
41年目	R 52	0.98988	0.99021	0.99989	0.99176	0.1583	101.8	3.95	0.91	1.57	6.44	1.02	0.13	0.02	0.09	0.24	0.04	0.00	0.00	6.67	1.06
42年目	R 53	0.98980	0.99014	0.99989	0.99171	0.1522	101.8	3.91	0.90	1.57	6.39	0.97	0.13	0.02	0.09	0.23	0.04	0.00	0.00	6.62	1.01
43年目	R 54	0.98972	0.99006	0.99989	0.99165	0.1463	101.8	3.87	0.90	1.57	6.34	0.93	0.13	0.02	0.09	0.23	0.03	0.00	0.00	6.57	0.96
44年目	R 55	0.98965	0.98999	0.99989	0.99160	0.1407	101.8	3.83	0.89	1.57	6.29	0.88	0.13	0.02	0.09	0.23	0.03	0.00	0.00	6.52	0.92
45年目	R 56	0.98957	0.98991	0.99989	0.99155	0.1353	101.8	3.79	0.88	1.57	6.24	0.84	0.13	0.02	0.09	0.23	0.03	0.00	0.00	6.47	0.88
46年目	R 57	0.98949	0.98984	0.99989	0.99149	0.1301	101.8	3.75	0.87	1.57	6.19	0.81	0.12	0.02	0.09	0.23	0.03	0.00	0.00	6.42	0.84
47年目	R 58	0.98941	0.98977	0.99989	0.99144	0.1251	101.8	3.71	0.86	1.57	6.14	0.77	0.12	0.01	0.09	0.23	0.03	0.00	0.00	6.37	0.80
48年目	R 59	0.98933	0.98969	0.99989	0.99138	0.1203	101.8	3.67	0.85	1.57	6.09	0.73	0.12	0.01	0.09	0.23	0.03	0.00	0.00	6.32	0.76
49年目	R 60	0.98925	0.98962	0.99989	0.99133	0.1157	101.8	3.64	0.84	1.57	6.05	0.70	0.12	0.01	0.09	0.22	0.03	0.00	0.00	6.27	0.73
合計								229.62	53.51	78.16	361.28	133.79	7.64	0.93	4.39	12.96	4.76	0.09	0.03	374.34	138.59

便益の現在価値算定表（残事業）

箇所名： 一般国道168号 長殿道路

年次	年度 (基準年) R 5	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿内陸ブロック)				割戻率 (A)	GDP デフレーター	走行時間短縮便益 (億円)					走行経費減少便益 (億円)					事故減少便益 (億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	R 11	0.99872	0.98215	1.00553	0.99744	0.7903	101.8	5.36	1.35	1.50	8.21	6.49	0.18	0.02	0.08	0.29	0.23	0.00	0.00	8.50	6.72
1年目	R 12	0.99665	0.98951	1.00412	0.99664	0.7599	101.8	5.35	1.33	1.51	8.19	6.22	0.18	0.02	0.08	0.29	0.22	0.00	0.00	8.47	6.44
2年目	R 13	0.99664	0.98940	1.00410	0.99663	0.7307	101.8	5.33	1.31	1.52	8.16	5.96	0.18	0.02	0.09	0.29	0.21	0.00	0.00	8.45	6.17
3年目	R 14	0.99663	0.98928	1.00409	0.99662	0.7026	101.8	5.31	1.30	1.52	8.14	5.72	0.18	0.02	0.09	0.29	0.20	0.00	0.00	8.42	5.92
4年目	R 15	0.99661	0.98917	1.00407	0.99661	0.6756	101.8	5.30	1.28	1.53	8.11	5.48	0.18	0.02	0.09	0.28	0.19	0.00	0.00	8.40	5.67
5年目	R 16	0.99660	0.98905	1.00405	0.99659	0.6496	101.8	5.28	1.27	1.54	8.08	5.25	0.18	0.02	0.09	0.28	0.18	0.00	0.00	8.37	5.44
6年目	R 17	0.99659	0.98893	1.00404	0.99658	0.6246	101.8	5.26	1.26	1.54	8.06	5.03	0.18	0.02	0.09	0.28	0.18	0.00	0.00	8.34	5.21
7年目	R 18	0.99658	0.98880	1.00402	0.99657	0.6006	101.8	5.24	1.24	1.55	8.03	4.82	0.17	0.02	0.09	0.28	0.17	0.00	0.00	8.32	5.00
8年目	R 19	0.99657	0.98868	1.00401	0.99656	0.5775	101.8	5.22	1.23	1.56	8.01	4.62	0.17	0.02	0.09	0.28	0.16	0.00	0.00	8.29	4.79
9年目	R 20	0.99656	0.98855	1.00399	0.99655	0.5553	101.8	5.21	1.21	1.56	7.98	4.43	0.17	0.02	0.09	0.28	0.16	0.00	0.00	8.27	4.59
10年目	R 21	0.99654	0.98841	1.00397	0.99653	0.5339	101.8	5.19	1.20	1.57	7.96	4.25	0.17	0.02	0.09	0.28	0.15	0.00	0.00	8.24	4.40
11年目	R 22	0.99213	0.99233	0.99989	0.99333	0.5134	101.8	5.17	1.19	1.57	7.93	4.07	0.17	0.02	0.09	0.28	0.14	0.00	0.00	8.21	4.22
12年目	R 23	0.99207	0.99227	0.99989	0.99328	0.4936	101.8	5.13	1.18	1.57	7.88	3.89	0.17	0.02	0.09	0.28	0.14	0.00	0.00	8.16	4.03
13年目	R 24	0.99200	0.99221	0.99989	0.99324	0.4746	101.8	5.09	1.17	1.57	7.83	3.72	0.17	0.02	0.09	0.28	0.13	0.00	0.00	8.11	3.85
14年目	R 25	0.99194	0.99215	0.99989	0.99319	0.4564	101.8	5.05	1.16	1.57	7.78	3.55	0.17	0.02	0.09	0.28	0.13	0.00	0.00	8.06	3.68
15年目	R 26	0.99187	0.99209	0.99989	0.99314	0.4388	101.8	5.01	1.15	1.57	7.73	3.39	0.17	0.02	0.09	0.28	0.12	0.00	0.00	8.01	3.51
16年目	R 27	0.99181	0.99203	0.99989	0.99310	0.4220	101.8	4.97	1.14	1.57	7.68	3.24	0.17	0.02	0.09	0.27	0.12	0.00	0.00	7.96	3.36
17年目	R 28	0.99174	0.99196	0.99989	0.99305	0.4057	101.8	4.93	1.13	1.57	7.63	3.10	0.16	0.02	0.09	0.27	0.11	0.00	0.00	7.90	3.21
18年目	R 29	0.99167	0.99190	0.99989	0.99300	0.3901	101.8	4.89	1.12	1.57	7.58	2.96	0.16	0.02	0.09	0.27	0.11	0.00	0.00	7.85	3.06
19年目	R 30	0.99160	0.99183	0.99989	0.99295	0.3751	101.8	4.85	1.11	1.57	7.53	2.82	0.16	0.02	0.09	0.27	0.10	0.00	0.00	7.80	2.93
20年目	R 31	0.99153	0.99176	0.99989	0.99290	0.3607	101.8	4.80	1.10	1.57	7.48	2.70	0.16	0.02	0.09	0.27	0.10	0.00	0.00	7.75	2.80
21年目	R 32	0.99146	0.99169	0.99989	0.99285	0.3468	101.8	4.76	1.10	1.57	7.43	2.58	0.16	0.02	0.09	0.27	0.09	0.00	0.00	7.70	2.67
22年目	R 33	0.99138	0.99163	0.99989	0.99280	0.3335	101.8	4.72	1.09	1.57	7.38	2.46	0.16	0.02	0.09	0.26	0.09	0.00	0.00	7.65	2.55
23年目	R 34	0.99131	0.99155	0.99989	0.99275	0.3207	101.8	4.68	1.08	1.57	7.33	2.35	0.16	0.02	0.09	0.26	0.08	0.00	0.00	7.60	2.44
24年目	R 35	0.99123	0.99148	0.99989	0.99269	0.3083	101.8	4.64	1.07	1.57	7.28	2.24	0.15	0.02	0.09	0.26	0.08	0.00	0.00	7.54	2.33
25年目	R 36	0.99115	0.99141	0.99989	0.99264	0.2965	101.8	4.60	1.06	1.57	7.23	2.14	0.15	0.02	0.09	0.26	0.08	0.00	0.00	7.49	2.22
26年目	R 37	0.99107	0.99134	0.99989	0.99259	0.2851	101.8	4.56	1.05	1.57	7.18	2.05	0.15	0.02	0.09	0.26	0.07	0.00	0.00	7.44	2.12
27年目	R 38	0.99099	0.99126	0.99989	0.99253	0.2741	101.8	4.52	1.04	1.57	7.13	1.95	0.15	0.02	0.09	0.26	0.07	0.00	0.00	7.39	2.03
28年目	R 39	0.99091	0.99118	0.99989	0.99247	0.2636	101.8	4.48	1.03	1.57	7.08	1.87	0.15	0.02	0.09	0.26	0.07	0.00	0.00	7.34	1.93
29年目	R 40	0.99083	0.99110	0.99989	0.99242	0.2534	101.8	4.44	1.02	1.57	7.03	1.78	0.15	0.02	0.09	0.25	0.06	0.00	0.00	7.29	1.85
30年目	R 41	0.99074	0.99102	0.99989	0.99236	0.2437	101.8	4.40	1.01	1.57	6.98	1.70	0.15	0.02	0.09	0.25	0.06	0.00	0.00	7.24	1.76
31年目	R 42	0.99067	0.99095	0.99989	0.99230	0.2343	101.8	4.36	1.00	1.57	6.93	1.62	0.15	0.02	0.09	0.25	0.06	0.00	0.00	7.18	1.68
32年目	R 43	0.99059	0.99088	0.99989	0.99225	0.2253	101.8	4.32	1.00	1.57	6.88	1.55	0.14	0.02	0.09	0.25	0.06	0.00	0.00	7.13	1.61
33年目	R 44	0.99051	0.99080	0.99989	0.99220	0.2166	101.8	4.28	0.99	1.57	6.83	1.48	0.14	0.02	0.09	0.25	0.05	0.00	0.00	7.08	1.53
34年目	R 45	0.99043	0.99073	0.99989	0.99214	0.2083	101.8	4.23	0.98	1.57	6.78	1.41	0.14	0.02	0.09	0.25	0.05	0.00	0.00	7.03	1.46
35年目	R 46	0.99035	0.99065	0.99989	0.99209	0.2003	101.8	4.19	0.97	1.57	6.73	1.35	0.14	0.02	0.09	0.24	0.05	0.00	0.00	6.98	1.40
36年目	R 47	0.99027	0.99058	0.99989	0.99203	0.1926	101.8	4.15	0.96	1.57	6.68	1.29	0.14	0.02	0.09	0.24	0.05	0.00	0.00	6.93	1.33
37年目	R 48	0.99020	0.99051	0.99989	0.99198	0.1852	101.8	4.11	0.95	1.57	6.63	1.23	0.14	0.02	0.09	0.24	0.04	0.00	0.00	6.88	1.27
38年目	R 49	0.99012	0.99043	0.99989	0.99193	0.1780	101.8	4.07	0.94	1.57	6.58	1.17	0.14	0.02	0.09	0.24	0.04	0.00	0.00	6.83	1.21
39年目	R 50	0.99004	0.99036	0.99989	0.99187	0.1712	101.8	4.03	0.93	1.57	6.53	1.12	0.13	0.02	0.09	0.24	0.04	0.00	0.00	6.77	1.16
40年目	R 51	0.98996	0.99028	0.99989	0.99182	0.1646	101.8	3.99	0.92	1.57	6.48	1.07	0.13	0.02	0.09	0.24	0.04	0.00	0.00	6.72	1.11
41年目	R 52	0.98988	0.99021	0.99989	0.99176	0.1583	101.8	3.95	0.91	1.57	6.44	1.02	0.13	0.02	0.09	0.24	0.04	0.00	0.00	6.67	1.06
42年目	R 53	0.98980	0.99014	0.99989	0.99171	0.1522	101.8	3.91	0.90	1.57	6.39	0.97	0.13	0.02	0.09	0.23	0.04	0.00	0.00	6.62	1.01
43年目	R 54	0.98972	0.99006	0.99989	0.99165	0.1463	101.8	3.87	0.90	1.57	6.34	0.93	0.13	0.02	0.09	0.23	0.03	0.00	0.00	6.57	0.96
44年目	R 55	0.98965	0.98999	0.99989	0.99160	0.1407	101.8	3.83	0.89	1.57	6.29	0.88	0.13	0.02	0.09	0.23	0.03	0.00	0.00	6.52	0.92
45年目	R 56	0.98957	0.98991	0.99989	0.99155	0.1353	101.8	3.79	0.88	1.57	6.24	0.84	0.13	0.02	0.09	0.23	0.03	0.00	0.00	6.47	0.88
46年目	R 57	0.98949	0.98984	0.99989	0.99149	0.1301	101.8	3.75	0.87	1.57	6.19	0.81	0.12	0.02	0.09	0.23	0.03	0.00	0.00	6.42	0.84
47年目	R 58	0.98941	0.98977	0.99989	0.99144	0.1251	101.8	3.71	0.86	1.57	6.14	0.77	0.12	0.01	0.09	0.23	0.03	0.00	0.00	6.37	0.80
48年目	R 59	0.98933	0.98969	0.99989	0.99138	0.1203	101.8	3.67	0.85	1.57	6.09	0.73	0.12	0.01	0.09	0.23	0.03	0.00	0.00	6.32	0.76
49年目	R 60	0.98925	0.98962	0.99989	0.99133	0.1157	101.8	3.64	0.84	1.57	6.05	0.70	0.12	0.01	0.09	0.22	0.03	0.00	0.00	6.27	0.73
合計								229.62	53.51	78.16	361.28	133.79	7.64	0.93	4.39	12.96	4.76	0.09	0.03	374.34	138.59

(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道168号	長殿道路	2	2.7km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				17,552	
	改良費				107	
		土工	m3	1,474	1	接続部改良工事を含む
		軟弱地盤改良工	m3			
		法面工	m2	16		
		擁壁工	式	1	95	
		排水工	m	336	9	
		函渠工	m		2	
	橋梁費				7,314	
		橋梁	m	432	7,314	
	トンネル費				9,150	
		NATM	m	2,027	9,150	
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				977	
		車道舗装	m ²	16,653	977	橋梁部、トンネル部含む
		歩道舗装	m ²			
	付帯施設費				4	
		交通管理施設工	m	1,286	4	
②	用地及補償費				8	
	用地費		m ²	23,561	8	
		宅地	m ²			
		田畑	m ²			
		山林・原野	m ²	23,561	8	
		その他	m ²			
	補償費		式			
③	間接経費		式	1	1,520	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				19,080	

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道168号	長殿道路	2	2.7km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				11,906	
	改良費				107	
		土工	m3	1,474	1	接続部改良工事を含む
		軟弱地盤改良工	m3			
		法面工	m2	16		
		擁壁工	式	1	95	
		排水工	m	336	9	
		函渠工	m		2	
	橋梁費				1,668	
		橋梁	m	366	1,668	
	トンネル費				9,150	
		NATM	m	2,027	9,150	
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				977	
		車道舗装	m ²	16,653	977	
		歩道舗装	m ²			
	付帯施設費				4	
		交通管理施設工	m	1,286	4	
②	用地及補償費				3	
	用地費		m ²	9,831	3	
		宅地	m ²			
		田畑	m ²			
		山林・原野	m ²	9,831	3	
		その他	m ²			
	補償費		式			
③	間接経費		式	1	125	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				12,034	

全事業 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道168号	長殿道路	2	2.7km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	2.7	1,000	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	2,850	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			3,850	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。